

第六十二回
帝國議會
貴族院

兌換銀行券條例中改正法律案特別委員會議事速記録第一號

付託議案

兌換銀行券條例中改正法律案

日本銀行納付金法案

日本銀行參與會法案

資本逃避防止法案

委員氏名

委員長 伯爵林 博太郎君
副委員長 石塚 英藏君

公爵山縣 有道君

侯爵松平 康昌君

子爵渡邊 千冬君

子爵八條 隆正君

子爵舟橋 清賢君

男爵郷 誠之助君

男爵矢吹 省三君

片岡 直溫君

倉知 鐵吉君

西野 元君

馬場 鎮一君

澤山精八郎君

下出 民義君

三木與吉郎君

岩田 三吏君

男爵四條 隆英君

昭和七年六月十一日(土曜日)午前十時九分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) 是ヨリ兌換銀行券條例中改正法律案外三件ノ委員會ヲ開會イタシマス、差當リ重要法案デゴザイマスカラ銀行局長ヨリ大體ニ付テノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(大久保偵次君) ソレデハ私カラ兌換銀行券條例中改正法律案、日本銀行納付金法案及日本銀行參與會法案、此三ツノ法律案ノ説明ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、先ヅ兌換銀行券條例中改正法律案ノ改正要點ハ第一ニ現行保證發行限度一億二千萬圓ヲ十億圓ト致シマシテ、第二ニ制限外發行ノ制限ヲ緩カニシマシテ、十五日以內ノ場合ニハ別ニ抑制ヲ加ヘマセズ、十五日ヲ超エタル場合ニ付テダケ大藏大臣ノ許可ヲ要スルコトトシマシテ、且ツ制限外發行稅ヲ課スルコトト致シマシタ、第三ニハ制限外發行稅率現行ノ年五分以上ト云フノヲ、年三分以上ト改メタ、此三點デアリマス、以下ソレノ説明ヲ申上マス、第一ノ點ニ付キマシテハ、現行ノ一億二千萬圓ト定メマシタノハ明治三十二年デアリマ

ス、此限度ニ關スル法律ノ沿革ハ御手許ニ差上ゲテアリマス兌換銀行券發行制限ニ關スル調査參考資料ノ五十三頁ニ掲ゲテアリマス通り、當初二十一年ニハ七千万圓トナツテ居リマシタノガ、二十三年、即チ二年後ニハ八千五百万圓ニ増額セラレマシテ、更ニ三十二年ニ現行通り一億二千万圓ニ増額セラレマシタノデ、爾來三十有餘年間其儘ニナツテ居リマス、此間ニ我國ノ經濟力ハ非常ニ發展シマシテ、從ッテ通貨ノ需要量モ當時ニ比シマシテ著シク巨額トナツテ制限外發行ガ寧ロ常則的ノコトトナルニ至ッタノデアリマス、而カモ最近ニ於キマシテハ保有正貨高ガ激減イタシマシタ爲、通貨流通ノ圓滑ヲ期シ得ザルノミナラズ、保證發行ト制限外發行トヲ區別イタシマシタ立法當初ノ趣旨ハ全ク没却セラレマシタ事態ハ御承知ノ通りデアリマシテ、御手許ニ差上ゲテアリマス參考資料ノ一乃至五ノ數字ヲ御覽下サイマスレバ此間ノ事情ガ御了察ヲ願ヘルコトト存ジマス、而シテ之ヲ十億圓ト致シマシタノハ、是亦參考資料ノ十五頁ニ付テ御覽下サイマス通り、最近十ヶ年間ノ通貨需要量ハ十二億圓臺デアリマス、假リニ之ヲ我

國ニ於ケル通貨ノ平均需要量ト致シマスレバ、正貨ノ現在高四億餘圓トノ開キハ八億圓トナツテ居ルノデアリマス、サウシテ將來増大スベキ通貨ノ分量ヲ測定シマスコトハナカナカ困難デゴザイマシテ、或ハ其測定ノ標準トシマシテハ、會社ノ資本金額トカ、貿易額トカ、人口トカ、又ハ歳出入、貨幣流通額、物貨ノ高低ト云フ風ナコトヲ比較イタシマスノモ一方法デハゴザイマスケレドモ、色々統計表ヲ考ヘ見マシテ、此中ノ或モノハ御手許ノ參考資料ノ四十一頁乃至五十一頁ニ述ベテ置キマシタケレドモ、要スルニハ見込ノ問題トナルダラウト思ヒマス、而カモ將來國內ノ産業ヲ振興セシメルニ於テハ、民間ニ於テモ、亦政府ノ施設ト致シマシテモ、通貨ノ需要量ガ増大イタスベキコトハ必然デアリマスカラ、殊ニ我國ノ保有正貨量ノ實狀ヲモ鑑ミマシテ、之ヲ十億圓ト定メルノガ適當ト認メタノデゴザイマス、第二ノ點ニ付テ御説明申上ゲマス、月末季末等ノ一時的決濟資金ノ増大ニ付キマシテハ、特ニ抑制ノ必要ガナイト思ハレルノデアリマス、外國ニ於テモ其例ガアリマシテ、獨逸ハ引續キ二回ノ營業週報

ニ限外發行ガ現レタ場合ダケヲ課税スルコトトシテ居リマス、サウシテ我國ノ過去ノ實績ニ徴シテ見マスルニ、此手許ニ差上ゲテアリマス、參考資料ノ三十三頁ニ現レテ居リマス通りニ、此ヤウナ一時的ノ需要ハ大體十五日以内ニ收縮スルノデ、從テ十五日以内ノ期間ニ於ケル制限外發行ニ付キマシテハ、別段抑制ノ手段ヲ執ラナイコトト致シテ居ルノデアリマス、第三ノ點ニ付キマシテハ、制限外發行ノ場合ニハ一定ノ抑制ヲ加フル、所謂屈伸制限法ノ妙味デアリマスルガ、其抑制ガ餘リ過度ニナラヌヤウニ考慮スルコトモ亦必要デアリマス、五分以上ト限定イタシマス結果ハ、金利が高イ場合ニハ敢テ無理デアリマセヌケレドモ、既ニ過去ニ於テモ日本銀行割引歩合ガ日歩一錢三厘、即チ年利四分七厘五毛ト云フノニ低下イタシマシタ實例モアリ、斯カル場合ニ日本銀行ノ發行手數料ノコトモ考慮イタシマス時ニハ相當無理ナ場合モ生ジマスカラシテ、世界ノ現狀ヲ見マシテモ、將來金利ノ低下スルコトアルベキ場合モ慮カル必要モアリマスカラ、通貨ノ循環流通ヲ圓滑ニスルト云フ趣旨カラ餘リ過度ニ陷ラザルヤウニ稅率裁量ノ範圍ヲ擴メテ置クコトヲ必要ト致シタノデゴザイマス、外國ノ例ニ付

キマシテモ米國ハ年一分カラ始マリ、獨逸ハ年三分カラ始メテ居ルヤウナ狀況デ、我國ノ如キ五分ト云フ例ハ見當ラナイヤウニ心得マス、次ニハ日本銀行ノ納付金法案ニ付テ説明申上ゲマス、御手許ニ差上ゲテアリマス日本銀行納付金法案ノ調査參考資料ノ三頁カラ二十頁迄ニ記シテアリマス通りニ、諸外國殆ド例外ナク、中央銀行ニ對シ納付金制度ヲ採用イタシテ居リマス、我國ニ於テハ御承知ノ通り、明治三十二年法律第五十六號日本銀行納税ニ關スル件ト云フ法律ニ基キマシテ、所謂制限外發行額ニ對シ千分ノ十二半ノ納税ヲナサシメ、又政府當座預金ニ付キマシテハ一定額ノ支拂準備ヲ除キ、預金利子上納ノ制度ヲ執テ居リマスガ、共ニ一定率デアリマスガ爲ニ、日本銀行ノ受クル利益ト權衡ヲ得ナイノミナラズ、日本銀行ノ利益ノ増減ニ順應スル伸縮性ヲ缺ク憾ガアリマス、申ス迄モナク日本銀行ハ我國ノ中央銀行トシテ特別ノ法規ニ依ッテ設立セラレタル國家的機關デアリマシテ、資本金ノ釀出ハ之ヲ株主ニ求メテハ居リマスモノノ、單純ナル營利法人デハナク、國家ヨリ種種ノ特典ヲ賦與セラレ、同時ニ特權的ノ地位ヲ享有シテ居リマスカラ、同行ノ利益配分ヲシテ衡平ノ原則ニ適ハシメ、且ツ其

利益ノ増減ニ順應セシメル爲ニ納付金制度ヲ以テ最モ適當トスルノデアリマス、殊ニ今回兌換銀行券條例ガ改正セラレマス結果、現行ノ制度ニ依ル制限外發行稅ガ失ハレマシテ、從テ日本銀行ノ純益ガ増大スベキハ明白デアリマス、此際納付金制度ヲ採用イタシマスコトハ最モ適當ト信ズルノデゴザイマス、併ナガラ之ニ依リ日本銀行ノ負擔ニ激變ヲ生ジタリ、從前ニ比シ過度ナラシメタリスルコトハ避ケタイト存ジマシテ、納付金算定ノ率ヲ提案ノ如ク致シタノデアリマス、即チ本案ニ依リマスレバ日本銀行ノ純益金カラ、先ヅ第一ニ日本銀行定款第三十六條ニ規定イタシマスル如ク、拂込資本金ニ對スル年利六分ノ株主割賦金ヲ差引キマシテ、次ニ日本銀行條例ニ依ル最少限度ノ積立金ヲ差引キマシタ殘リヲ折半イタシマシテ、其一半ヲ政府ニ納メサセマス、此分ヲ假リニ第一納付金ト申シマセウ、殘リノ一半ガ更ニ拂込資本金ニ對シ年四分ノ割合ヲ超過イタシマスレバ、之ヲ超過スル金額ノ四分ノ三ヲ政府ニ納付サセマス、此分ヲ假リニ第二納付金ト申シマセウ、サウ致シマスレバ日本銀行ニハ更ニ其四分ノ一ガ殘リ計算トナルノデアリマス、依ッテ平易ニ申上ゲマス、政府ノ取り分ハ第一納

付金竝ニ第二納付金、株主ノ取り分ハ第一割賦金年六分及ビ第二割賦金年四分ノ合計一割ノ配當、日本銀行ハ最少限度ノ積立金ト最後ノ殘リノ四分ノ一ト云フ勘定ニナリマス、此分ハ日本銀行ガ勿論自由ニ處分スル譯デアリマス、實績ニ當嵌メテ申シマスルト云フト大體現狀ヲ著シク變化セシメナイト云フ狀態ニナリマシテ、昭和五年ノ上期デハ約百九十餘萬圓、下期デハ、百八十二萬圓、六年ノ上期デハ、百九十二萬圓、下期デハ、百二十餘萬圓、矢張り日本銀行ノ負擔ガ増加スルト云フ程度デゴザイマシテ、斯ノ如キ現狀ニ比シテ著シク變化ヲ與ヘナイヤウニ十分配意イタシテアリマス次第デアリマス、尙ホ積立金ノコトデゴザイマスガ、現今日本銀行ノ積立金ハ獨リ拂込資本金ノミナラズ、公稱資本金額ヲモ遙ニ超過シテ居リマスノデ、或ハ最早積立金ノ必要ガナイトノ議論モアリマセウケレドモ、是亦激變ヲ與ヘナイト云フ趣旨ヲ以チマシテ、積立金ヲ認メルコトト致シマシタ、前ニモ申上ゲマシタ通りニ、本案ニ依リマスレバ發行稅等ガナクナリマス結果、日本銀行ノ純益ガ著シク増大イタシマス關係上、適度ニ之ヲ調節スル必要ガアリマスノデ、積立金ノ最低限度ハ、十分ノ一ヲ今後

二十分ノ一ト云フ風ニ致シタ次第デゴザイマス、最後ニ日本銀行參與會法案ニ付テ申上ゲマス、一國中銀行ノ金融界並ニ産業界トノ聯繫ヲ密接ナラシメルト云フコトガ金融統制上必要デアコトハ申スマデモアリマセヌガ、今回兌換銀行券條例ニ改正ヲ加ヘマス結果、通貨ノ供給ガ從前ニ比シ容易トナリ、從テ其圓滑ヲ期シ得ルノデアリマスガ、他面ニ於テハ通貨ノ供給ヲシテ眞ニ正當ナル取引、必要ナル需要ニ向ケシムルコトガ最モ肝要デ、之ガ運用ハ金融政策上最モ意ヲ用キナケレバナラス所トナリマスノデ、日本銀行ノ機能ヲ活用シ我ガ經濟ノ實情ニ適合セシムル爲ニ參與會ヲ設置セシムルコトト致シタノデゴザイマス、其ノ

構成ハ金融界、産業界、學識經驗アル者等斯界ノ權威者五名以內ヲ大藏大臣ガ任命イタシマシテ、會長ハ日本銀行總裁之ニ當ルコトトシマシタ、少クトモ毎月一回參與會ヲ招集イタシテ日本銀行ノ重要ナル業務ニ關シマシテ諮問ニ應ゼシメ、又參與會自ラモ日本銀行ノ業務ニ關シテ意見ヲ述ベルコトヲ得セシムルコトニナデ居リマス、サウシテ參與ノ任期ハ三年デアリマスガ、必要ノ場合ニ於テハ重任ヲ妨ゲマセヌ、又日本銀行參與ハ無給デアリマス、サウシテ日本

銀行參與會ハ諮問機關デアリマシテ執行機關デアリマセヌノデゴザイマス、諸外國ニ於ケル例ニ付キマシテハ御參考マデニ御手許ニ差上ゲテ置キマシタ參與會ニ關スル調査參考資料ノ中ニ收メテ置キマシタ次第デゴザイマス、以上大體ノ御説明ヲ申上ゲマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 序デゴザイマスカラ資本逃避防止法案ノ御説明ヲ願ヒマスガ理財局國庫課長青木君カラ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(青木一男君) 資本逃避防止法案ノ提案ノ理由ヲ説明イタシマス、一昨年一月金ノ輸出解禁次第我ガ國ニ於キマシテハ或ハ内外金融狀態ノ差違カラ證券投資ノ運用利廻リ開キヲ生ジ、外貨證券ニ投資スル方ガ有利デアルト云フ計算カラ致シマシテ、國內資本ノ海外ニ逃避スル傾向ヲ生ジタノデアリマス、又或ハ金ノ輸出再禁止問題等ト關聯イタシマシテ、將來圓價ノ低落スベキコトヲ豫期シテ、其意味カラモ少ナカラザル資本ガ海外ニ流出イタシタノデアリマス、殊ニ此傾向ハ昨年九月英國ガ金ノ輸出ヲ禁止イタシマシタ以後特ニ顯著ナルモノガアリマシタ、當時政府ハ斯ノ如キ資本ノ海外流出ハ國家ノ公益ニ反スルコトヲ

痛感イタシマシテ、或ハ當業者ノ協力ヲ求メ、或ハ輿論ヲ喚起シテ此勢ヲ阻止セムトシタノデアリマスガ、不幸ニシテ其目的ヲ達スルコトガ出來ズ、要スルニ斯カル資本ノ流出ハ立法的手段ニ依ルニアラザレバ十分ニ其目的ヲ達シ難イコトヲ實證シタノデアリマス、最近ニ於キマシテハ種々ナル原因ニ依リマシテ、我ガ國ノ外貨證券ノ利廻リガ著シク低落スルニ至リマシタ、政府ノ外債保證價ニ付テ既ニ非常ナル低落ヲ見テ居ル狀況デアリマスカラ、政府ノ保證ナキ一般民間社債ニ付テハ非常ナル相場ノ下落ヲ見テ居リマス、從テ其利廻リハ複利計算ヲ以テシテモ一割五分内外、若シ單利ヲ以テスレバ二割以上ト云フヤウナ利廻リヲ示シテ居ルノデアリマス、從テ内地ノ資金ヲ運用スルヨリモ、外國ノ資金ヲ送テ

是等ノ有利ナ證券ニ投資スル方ガ有利デアルト云フコトガ一般ニ認識サレマシテ、之ヲ目的トスル資本ノ海外逃避ガ今日ニ於テ跡ヲ絶タザル情況ニアリマス、殊ニ從來ハ資力アルモノノミニ限テ斯ウ云フ所作ガ行ハレマシタノデアリマスガ、最近ニ於テハ證券業等ノ宣傳ガ加ハリマシテ著シク民衆化スルニ至ッタノデアリマス、將來ニ於キマシテモ證券ノ相場ノ關係、或ハ其他ノ

我が邦貨ノ價值ノ低落見越シ等ノ色ミノ原因カラ資本ガ海外ニ逃避スルト云フ虞ガアリ得ルノデアリマス、元來資本ノ國際的移動ハ原則トシテ自由タルベキコトハ勿論デアリマスルガ、今日ノ如キ國際經濟ノ非常時ニ際シマシテハ、資本ノ國外流出ヲ防止スルト云フコトハ、國民經濟ノ安全ヲ保持スル爲ニ絶對ニ必要トスル所デアリマス、既ニ此種ノ例ハ諸外國ニ於テ多ク其例ヲ見ル所デアリマス、然ルニ現在ニ於キマシテハ、我國ニハ是等ノ資本ノ逃避ヲ防止スベキ何等ノ法規上ノ根據ヲ有シナイノデアリマス、從テ之ニ關スル法律案ヲ提出イタシマシタ次第デアリマス、此法律ハ資本逃避ヲ取締ル場合ノ事項ノ範圍及ビ之ニ反スル場合ノ罰則ノ大綱ヲ規定シタノデゴザイマシテ、之ヲ如何ナル時機ニ實行スルカ、又此手續ニスルカト云フヤウナコトハ其時ノ必要ニ應ジ定メ、且ツ時機ノ改廢ヲ適當ト致シマスカラシテ、是等ノ實行上ノ細則ハ舉ゲテ命令ニ委任スル形ヲ執ッテ居リマス、此法律案第一條ニ依リマシテ禁止又ハ制限ヲ行フコトヲ認メテ居リマスル事項ハ、外國通貨及ビ外國爲替ノ賣買、外國ニ對スル送金、外國通貨ヲ以テスル預金取引及貸借、外國通貨表示ノ證券、其他ノ債權

ノ賣買及ビ輸入、外國居住者ニ對スル信用ヲ與フル行爲、此五種ノ取引又ハ行爲デアリマス、是等ノ行爲ニ付キマシテハ法律案ガ明示スル如ク、資本ノ内外移動ヲ取締ル爲メ必要ト認ムル時ニ其禁止又ハ制限ヲ行フノデアリマスカラ、之ニ該當スル行爲ニ付キマシテモ貿易上、其他業務上ノ必要ニ基クモノニハ適用シナイ精神デアリマス、尙ホ委任命令ニ於キマシテハ此點ヲ明カニスル規定ヲハキリト設ケタイト考ヘテ居リマス、外國通貨ヲ以テスル預金取引及ビ貸借ハ本邦内ニ於テ是等ノ取引ヲ行フ者ニ限り制限スル意味デアリマス、命令ニ於キマシテハ其點ヲ明カニスル規定ヲ置キタイト考ヘテ居リマス、外貨證券ノ買入ニ付キマシテハ、現在既ニ在外資金トシテ持テ居ル其資金ヲ以テ買フ場合ニ於テモ取締ヲ行ヒタイト考ヘテ居リマス、蓋シ先程カラ申上ゲマス如ク外貨證券ノ投資ハ、今日我が國ニ於テ資本逃避ノ行ハレル最モ主ナル形式デアリマスカラ、此點ニ重キヲ置キタイト考ヘテ居リマス、外貨證券ノ輸入ハ若シ現物ハ我國ニ這入リマスト云フト、之ニ對スル投資ガ著シク民衆化スルノ虞ガアリマスカラ、特ニ輸入ニ付テ取締リノ必要ヲ認ムルノデアリマス、外債ノ發行等ニ付

キマシテモ、是ハ直接資本ノ逃避デハナイヤウニ見エマスガ、將來其元利拂ノ問題、或ハ我が國ニ對スル投資資本ノ回收等ノ關係カラ同ジヤウナ問題ヲ起シマスルノデ、矢張り第一條ニ依テ相當ナ取締ヲ行ヒタイト考ヘテ居リマス、法律案第二條ハ報告ヲ徵シ、又ハ検査ヲ行フ權限ヲ規定シテ居リマス、此報告及検査ト云フコトハ、本件取締ノ效果ヲ收ムル上ニ最モ必要トスル所デアリマス、蓋シ報告義務ヲ課スルニアラザレバ違反行爲ヲ摘發スルト云フ端緒ヲ得難イノデアリマシテ、又検査權ヲ有スルニアラザレバ違反行爲ノ取締ヲ徹底スルニ行ヒ難イカラデアリマス、報告ヲ徵スル事項ニ付キマシテハ、詳シクハマダ確定イタシテ居リマセヌガ、大體ノ復案ト致シマシテハ、先ヅ國內又ハ外國ニ於テ所有スル外國通貨、外國爲替、外國通貨ヲ以テスル、預金、貸付金及外貨證券ノ現在高竝ニ其増減、次ニ外國爲替業務ヲ營ム者ノ取扱ニ係ル船積書類ト、貿易關係タルコトヲ證明スベキ書類ヲ伴ハザル外國爲替ノ賣買竝ニ豫約、外國通貨ヲ以テ表示シタル預り金、借入金其他ノ債務ノ現在高竝ニ其増減、是等事項ニ付テ大體報告ヲ徵シタイ考デ居リマス、此事項ハ相當廣汎ニ互リマシテ、爲替銀行其他業

トシテ在外資金ヲ扱フ者ニ對シテハ、其手續ヲ簡易ニスル爲ニ相當ノ便法ヲ講ジナクチャナラヌモノト考ヘテ居リマス、第三條ハ外國通貨其他ノ在外資金及證券ノ強制買收ヲ規定シテ居リマス、此法律案第一條ハ法律施行後ノ取引又ハ行爲ニ適用サレルノデアリマスカラ、施行前カラ持テ居リマシタ外國通貨其他ニハ適用イタシマセヌ、又施行後ト雖モ形デ矢張り在外資金ヲ本邦人ガ獲得スルト云フ機會ハアリ得ルノデアリマス、而シテ本邦人ノ有スル是等外國通貨、其他ノ在外資金及ビ外貨證券ハ、之ヲ國家的ニ見テ必要ナル用途ニ使用スルト云フ必要ヲ生ズルコトガアリ得ルノデアリマス、斯ル場合一種ノ公用徵收ニ類似シタル權限ヲ政府ニ認メルノガ第三條ノ精神デアリマス、但シ是等ノ在外資金又ハ證券ニ付キマシテモ、爲替銀行トカ、或ハ保險會社等、其他業務上當然所有シタクチャナラナイモノニ付キマシテハ、之ヲ適用セザルコトハ固ヨリデアリマス、其コトハ此命令ニ於テ明カニ致シタイト考ヘテ居リマス、強制買收ヲ行ヒマスル場合ノ價額ハ、此外貨、在外資金及ビ外貨證券ニ屬シマスカラ、隨分其算定ガ困難デアリ、其公正ヲ期スル必要ガアリマスルカラ、外貨評價委

員會ト云フモノヲ設ケテ、其決定ニ資シタイト考ヘテ居リマス、第四條ハ罰則ヲ規定致シテ居リマス、元來此法律ハモトノ合法的ナル取引、又ハ行爲ヲ禁止シ、又ハ制限セムトスル取締法規デアリマスルカラ、形式的ニ行爲ノ違法性ヲ鑑別スルコトガ非常ニ困難ナル場合ガ多イノデアリマス、故ニ此罰則ヲ相當重クシテ一般豫防ノ手段ニ俟タネバナラスト考ヘテ居リマス、法律案第一條ニ規定致シマシタ取引又ハ行爲ノ禁止又ハ制限ノ違反ハ最モ情狀重キモノデアリマスルカラ、三年以下ノ體刑ト、重キ罰金刑トノ選擇刑ヲ科シテ居リマス、罰金刑トシテハ、從來ノ例ハ五千圓程度ヲ最高ト致シテ居リマスルガ、本法ノ違反取引ハ時トシテ非常ナル巨額ニ上ルノデアリマスルカラ、此程度ノ罰金デハ、罰金ノ效果ヲ收メ難イト考ヘマシテ、其違反行爲ニ該當スル取引價額ノ三倍以下ノ罰金ヲ科シ得ルコトト致シマシタ、次ニ此外國通貨其他ノ強制買收ヲ實行セムトスル場合、政府ノ命令ニ應ゼザル者ニ對シテハ、一年以下ノ體刑、又ハ外國通貨其他ノ價額ノ二倍以下ノ罰金ヲ科スルコトニナッテ居リマス、報告事務ノ違反、及ビ検査ヲ拒ミタル者ニ對スル罰則ハ、六月以下ノ禁錮又ハ五千圓以下ノ

罰金トナッテ居リマス、法律案第五條ハ法人其他事業上、他人ヲ使用スル所ノ罰則ノ特例デアリマス、法人ノ強制取締法規違反ニ對シマシテ、法人ノ代表者ニ罰則ヲ適用スル例ガ少カラズアルノデアリマス、本法ノ場合ニ於キマシテモ其違反行為ガ代表者ノ意思ニ出デタル場合ハ其代表者ヲ罰スルコト勿論デアリマスルガ、支配人以下ノ使用人ガ其與ヘラレタル權限内ノ行為トシテ行ヒ、代表者ノ關知セザルニ付キマシテモ、其代表者ヲ罰スルコトハ妥當ヲ缺クト考ヘマシテ、總テノ場合ニ其權限内ノ行為トシテ行ツタ、ソレノ人ミヲ罰スルコトヲ本則ト致シマシタ、但シ其當事者ヲ罰スルコト云フコトダケデハ、當初カラ犠牲者ヲ豫期シテ法人ノ利益ヲ圖ルト云フ虞ガアリマスノデ、當事者處罰ト併セテ、法人自身ニモ罰金刑ヲ科シ得ルコトト致シタノデアリマス、法人ニアラザル自然人ニ付キマシテモ、其事業ノ代理人使用人等ニ違反行為ガアル場合、各其當事者ヲ罰スル外、其本人又ハ事業主タル自然人ニ對シテモ罰金ヲ科シ得ルコト、シテ、法人ト其均衡ヲ保ツコトニ致シマシタ、第六條ハ外國ニ於テ行ハレタル違反行為ノ取締ニ關スル規定デアリマス、本法ハ本法施行地ニ於ケル總テノ人

ノ行為ニ適用スルコトハ刑罰法規ノ原則通りデアリマス、從テ自然人タルト、法人タルト、内國人タルト、外國人タルトハ問ハナイノデアリマス、併シ本法ニ依リ取締ラムトスル行為ハ、主トシテ在外取引ニ關スルモノガ多イノデアリマスルカラ、法人ノ海外支店等ノ行為ニモ之ヲ及ボスニアラザレバ、十分ニ取締ノ目的ヲ達シ難イノデアリマス、故ニ第六條ニ於テ本法施行地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ代表者、其他使用人ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行為ニモ之ヲ適用スルコト云フコトヲ規定シタノデアリマス、個人ニ付キマシテハ法人ノ如ク海外ニ大規模ナル機關ヲ持テ、是等ノ取引ヲ行フト云フコトハ餘リナイノデアリマスカラ、實際上ノ見地カラ個人ヲ除外シタノデアリマス

○委員長(伯爵林博太郎君) ソレデハ是ヨリ漸次質疑ニ移リマスガ、初ノ三案ダケハ色々關聯シテ居リマスカラ、是ハ別ニ一ツヅ、離シテヤルト云フコトモ、今日ノ場合必要ナイト思ヒマスカラ一括シタイト思ヒマス、ソレカラ資本逃避防止法案モ關聯ノアル場合ハ御質問ナスッテモ無論差支ナイノデアリマスガ、是ハチヨット變テ居リマスカラ後廻シニシマシテ、差當テ前三案ダケノ御質問ヲシテ戴キタイト考ヘルノデアリマス、ソレデヤ是ヨリ質問ニ移リマス

○片岡直溫君 今回ノ此法律案ハ極メテ重大ナル關係ヲ持ッテ居ル法案デアリマスルガ、實ハ參考資料等モ只今受取ッタ位ナコトデ、質問ヲ致スニモ約メテ、纏メテスルト云フコトハ甚ダ覺束ナイト存ジマスガ、大體要點ヲ擧ゲテ質問ヲシテ見タイト思ヒマス、此保證準備ノ範圍ヲ擴メルト云フコトハ、是ハ最早論ノ無イ所デアリマス、唯其程度デアリマス、是ハ畢竟金額ヲ圓滿ナラシムルト云フコトカラ出發シテ居ルト存ジマス、今日マデノ經過ヲ以テ考ヘマスト、大正七八年ノ我國産業ノ隆盛ヲ來シ、經濟界ノ極メテ膨脹イタシマシタ八年、九年、ソレヲ押ヘテ考ヘテ見マスト、今一億二千萬圓ヲ十億圓ニ擴張スルト云フコトハ、非常ニ行過ル嫌ヒガアルヤウニ思ハレルノデアリマス、殊ニ今日ノ金融界ハ、金融業者ノ將來ヲ心配スル點モゴザイマスガ、實ハ信用ト云フモノガ全ク失ハレテシマッテ居ル、主ニ擔保ニ依ルニアラザレバ殆ド其人ヲ信用スルト云フコトガ出來得ナイト云フガ如キ形ニナッテ居リマスカラ、今俄ニ通貨ヲ殖ヤシテ見マシタ處デ、或ル投機思惑ヲ爲ス者ノ便宜ニハナリマスガ、實際産業ノ爲ニ便宜

機關ヲ作ルト云フコトデナケレバイケナイ
ト思フノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付テ是
程ノ擴張ヲ爲サルニ付テハ、サウ云フモノ
ニ向テ必要ナル向キニ供給スルト云フコ
トガ出來ルト云フ御確信ヲ御持チデスカ、
此御立案ニナルマデニ付テノ土臺ガアラウ
ト存ジマスカラ、一應伺テ見タイト思ヒ
マス

○政府委員(大久保債次君) 御答申上ゲマ

ス、只今ノ御質問ハ極メテ重大ナコトデゴ
ザイマシテ、事務側ノ答辯トシテ或ハ盡サ
ヌ點ガアルカト思ヒマスケレドモ、其點ハ
御了承ヲ願テ置キマス、只今ノ御尋ノ前提
デゴザイマス、通貨ノ問題ニ付キマシテ、
從前ト比ベテ一億二千万圓ヲ十億ニスルト
云フコトハ餘リ多過ギルト云フ意味ノ事柄
ト、今日信用ノ缺乏シテ居ル時代ニ於テハ、
斯カル巨額ノモノガ實際ニ於テ流レヌデア
ラウ、仍テ此制度ト共ニ他ノ方策ヲ講ズル
ニ非ラザレバ十分ニ出ナイデアラウト云フ
風ナ御趣旨ニ承リマシテゴザイマスガ、第
一ニ此通貨ノ量ト、從テ本件ニナッテ居リ
マス十億圓ト云フ問題デゴザイマスガ、御
指摘ニナリマシタ景氣ノ好イ時代ノ通貨ノ
實際ハ既ニ御承知ノ通り、正貨準備ガ非常
ニ潤澤デゴザイマシテ、限外發行ト云フ風

ナモノハ殆ド出ナカッタ場合ガズト續イテ
居リマスノデゴザイマス、デ此保證擴張ト
申シマス現在ハ先キ程モ申シマシタ通り
ニ、一億二千万圓カラシテ十億圓ニ致シマ
シタル次第ハ、第一ニ此正貨ノ點モ考ヘナ
ケレバナラスト思ヒマス、嘗テ非常ニ多額
ニ持ッテ居リマシタ時代ト今日ハ非常ニ違
ヒマシテ、正貨ハ餘程激減イタシテ居リマ
ス、今後ト雖正貨ノ狀態ニ付キマシテハ急
ニ一時ノヤウナ具合ニ戻ッテ行クト云フヤ
ウナ豫測モ付キカネノデゴザイマス、斯
カル實情デゴザイマスカラシテ、到底一億
二千万圓ノ正貨保證準備ヲ以テシテハ賄ヒ
兼ネマスコトハ御質問ノ中ニモ既ニ現ハレ
テ居リマシテ、其程度ヲ決メマス上ニ正貨
ガ澤山アリマシタ場合ト、今日ノヤウナ狀
態トハ根本ニ於テ非常ナ違ヒガゴザイマ
ス、斯ウ云フ風ナ點ヲ考慮イタシテ見マス
ト云フト、通貨ノ額ト云フコトニ付テハ、
總額ノ平均ハ先程申シマシタ通り、十年間
ノ平均ガ十二億ト云フ風ナ計數ニナッテ居
リマス、現在ノ正貨準備ト比ベテ見マス
ト云フト、約八億カラノ開キガアリマシテ、
此保證準備ヲ普通ノ狀態ニ於テ此點マデ考
ヘナケレバナラス、斯ウ云フ風ニ我々計算
イタシマシタ次第デゴザイマス、デ今後ノ

正貨ノ模様モ見ナケレバナリマセズ、且又
取引其他經濟上ノ狀況モ考慮ニ入レマシテ、
又法律ハサウ至急ニ變ハルト云フ風ナコト
ニモ致シ兼ネル次第デアルカラシテ、或ル
程度ノ先キヲ見越シマシテ之ヲ十億ニ致シ
マシタ次第デアリマス、最氣ノ好イ時ト今
日トハ此通貨ノ問題ヲ議シマス上ニ非常ナ
違ヒガアルト云フコトヲ第一ニ考ヘマシタ
次第デゴザイマス、サウ致シマシテモ、御
話ノ通りニ額ガ多過ギルデハナイカト云フ
問題モ無論アリマセウガ、ソレハ先程カラ
申シマシタ通りニ、大體ニ於テ將來ノコト
ヲ考ヘマシタ次第デゴザイマス、又一面信
用ガ收縮シテ居ルト云フコトモ御説ノ通り
デアラウト思ッテ居リマス、同時ニ又信用ガ
ナイ場合ニハ通貨其モノノ必要モ同時ニ考
ヘラレルコトト思フノデゴザイマス、此點
カラ見マシテモ、實際ニ於テノ通貨ハ今日
ニ於キマシテモ信用ノ收縮ト云フヤウナ點
カラ想像シタヨリモ通貨ハ左程ニ收縮シテ
居ラヌト思フノデゴザイマス、計算ノ我々
大體考ヘマシタ基礎ハ、今申シマシタ通り
デゴザイマスガ、扱テ將來然ラバ此通貨ハ
如何ニシテ出スカ、ソレニ對スル方策ト云
フ問題ニ付キマシテハ、差當リ此發券制度
ノ根本ヲ考ヘマシテ、通貨制度ノ基調ヲ持

ヘルト云フコトカラ出發イタシマシタ、無
論今後今御示シノ方面ニ付テモ色々考慮シ
ナケレバナラスト思フノデゴザイマスガ、
現ニ不動産資金其他中小商業ノ方面ニ向
ヒマシテモ、相當ナ施設ハ今マデ考ヘテ居
リマスノデゴザイマス、何分ニモ只今直ニ
斯ウ云フ風ナ方面ニ十分ナル有効適切ナル
實際ヲ見テ居リマセヌコトハ誠ニ遺憾デゴ
ザイマス、今後ハ斯ウ云フ金融基調ノ下ニ
十分金融滑カニナル基礎ヲ拵ヘマシテ、ソ
レニ基イテ尙更ニ民間ナリ、政府ナリノ方
面カラ施設モ考ヘナケレバナラスコト、考
ヘテ居ル次第デゴザイマス、左様御諒承ヲ
願ヒマス

○片岡直溫君

大體御趣旨ハ分リマシタ
ガ、私ノ懸念スル所ノモノハ、直ニ今日必
要ナル方面ニ向ッテ融通ガ附カズシテ、唯徒
ニ投機思惑一時ノ一攫千金ト云フガ如キ企
テ方ニ傾向ガ生ジテ來ルコトヲ憂慮シタ所カ
ラ、先刻ノ御尋ネヲシタノデアリマスガ、
今月日本銀行ニ於テ彼ノ特別融通ノ金ガマ
ダ恐ラク五億乃至六億ニ近イモノガ殘ッテ
居ルト思ヒマス、是ハ固ヨリ十年ト云フ期
ヲ定メ、十年ニ至ッテ回收シ能ハザル時ハ五億
圓ヲ限ッテ國庫ガ補償スル、此補償ノ下ニ融
通ガ付ケラレテ居ルノデアリマスガ、マダ

十年ニハ約五年足ラズノ期限ハゴザイマス
ケレドモ、斯ウ云フ非常ノ場合ニ於テ一大
整理、一大改革ヲ加ヘナケレバナラヌト云
フ時ニ當テハ、アノ特別融通ノ如キモノモ
不動産ヲ擔保ニ取テ居ルモノハ、或ハ不動
産銀行ニ肩替リヲセシメ、此肩替リト云フ
コトダケハ一般ニハ行ハレテ居リマセヌカ
ラ、例ヘバ震災手形處理法ノ如キ方法ヲ講
ジテ、サウシテ肩替リヲセシメレバ、是ハ
肩替リノツク筈デアリマス、左様ニシテ日
本銀行ノ手許ヲ整理シテ、サウシテ融通力
ノ實際アル所ノモノヲアルト定メテ見マシ
タ時ニハ、斯ノ如キ一時ニ十億圓モ増サナ
ケレバナラヌト云フ考ハドウシテモ私ハ起
ラヌ筈デヤナイカト思フ、極ク簡單ニ之ヲ
約メテ申シタナラバ、五年ノ後ニハアノ五
億圓ト云フモノハ還テ來ル、サウスルト今
度十億圓ト云フモノヲ此處デ發行力ヲ與
ヘ、サウシテ之ヲ五億圓ノ回收ガ出來ル、
之ニ於テ十五億ノ融通力ヲ生ズル、ソコヘ
持テ來テ正貨準備ハマダ今後五年ノ間ニ
ハ多少動キモゴザイマセウガ、恐ラク殖エ
ルト云フ見込ハ付クマイト思ヒマスガ、假
ニ今日四億三千万圓アルモノガ、三億圓ニ
ナルトカ假定イタシマシテモ、此處ニ十八億
ト云フ融通力ヲ持ツコト、ナルノデアリマ

ス、サウ云フ風ニ一方ニ整理スベキモノヲ
整理ノ途ヲ採リ、サウシテ必要缺クベカラ
ザル所ノ保證準備ヲ擴張スル、斯ウ云フ手
段ニ出ルノガ爲政者トシテ當然ノ御考慮ニ
ナルベキ筋合ダト私ハ考ヘルガ、其點ニ對
シテ御考慮ハ拂ハレナカッタノデアリマス
カ

○政府委員(大久保債次君) 特別融通ノ點

ニ付キマシテモ實ハ考慮ヲ致シテ居リマス
次第デアリマスガ、御説ノ通りニ、是ハ昭
和十二年ニ於テ期限ガ參ルコトニナッテ居
ル次第デゴザイマス、今御示シニナリマシ
タ通り、此期マデニ損失ガアリマシタル場
合ニハ、五億圓ヲ限り日本銀行ニ損失補償
ガ出來ルト斯ウ云フコトニナッテ居ル譯デ
アリマス、之ヲ整理イタシマスコトニ付キ
マシテ、只今御示シノヤウナ具合ニ肩替リ
トカ云フ風ナ方法デ成ルベク早く整理ヲ付
ケタイト云フコトモ實ハ考ヘテ見テ居リマ
スノデアリマスガ、如何ニシテモ損失ノ方
ノ關係カラ見マシテ、法律ハ十年ト云フ期
限ヲ見テ居リマス、且又日本銀行ニ對シテ
補償スルト、斯ウ云フ風ナコトニナッテ居
リマスモノデスカラ、肩替リト言ヒマス
云フト、他ノ機關ノ介入ト云フコトニナリ
マスカラ、餘程鑑定ノ仕方其他ニ付テ實際

上ノ難問ガゴザイマスノデス、且又一面ニ
於キマシテハ、財界ノ現状ハダン／＼斯ウ
不況ニナッテ來テ居リマス關係カラ致シマ
シテ、此融通ヲ受ケマシタル銀行側ニ於キ
マシテ回收スルトカ云フ方面ノ計畫ハ實際
ノ問題トシテハ遅々トシテ居リマスコト
デ、此問題ヲ餘り早く片付ケルト云フコト
ハ却テ法律當初ノ目的ヲ達スル所以デモ
ナカラウト思ハレルノデアリマスカラ、非
常ニ心配モ致シ、考慮モ致シテ居リマスル
ケレドモ、此問題ニ、日本銀行ノ發券制度
ニ關聯イタシテ、サウ急ニ解決スルト云フ
妙案ヲ見出スコトガ出來マセヌデシタ、尙
ホ此通貨ノコトニ付テデゴザイマスガ、是
ハ日本銀行ノ貸出ノ方カラ見マスと云フ
ト、丁度今御示シノヤウナ工合ニ、マダ特
別融通ノ方ハ殘ッテ居リマス金額ガ五億七
千二百二十萬圓ト云フ風ナ數字ヲ示シテ居
リマス次第デゴザイマスガ、併シ此問題ガ、
是ダケ還テ參リマスレバ、直グ様ニ兌換券
ガソレダケ收縮スルト云フ風ナ譯ニモイカ
ヌカト思フノデゴザイマス、通貨ノ方ノ數
量ハ是ハイロ／＼ナ錯綜シタル取引ノ結末
デゴザイマスカラシテ、此特別融通ノ額ダ
ケソレダケ的確ニ兌換銀行券ノ數字ノ上ニ
表ハレルト云フ風ナ工合ニ參リマセヌ關係

○片岡直溫君 日本銀行ノ特別融通ヲ與ヘ

テアル所ノモノハ昭和十二年ガ期限デア
カラ其前ニ處置スルコトハ宜シキヲ得ナイ
ト云フ御答ヘデアリマスガ、私ノ質問シタ
趣旨ハ其前ニ片付ケルト云フノデヤナイ、
即チ昭和十二年マデノ公債ヲ發行シテ、彼
ノ日本銀行ニ貸シテ居ル所ノモノヲ、矢張
リ借りタ方カラ借用證書ヲ拵ラヘ、其證書
ノアルモノニ對シテ一時的其公債ヲ融通シ
テヤルト云フコトニスレバ、其肩替リノ出
來タ所ノモノハ擔保品ヲ……何レ擔保品ハ
色々ノモノガアリマセウガ、只今多ク殘ッテ
居ルモノハ不動産、ソレト書畫骨董ガラウ
ト思フ、是等ハ何レ賣却シナケレバナラヌ、
賣却シテ損失ガ起レバ國家ガ之ヲ補償スル
ト云フコトニナルノデアリマシテ、損ノ行
カナイヤウニシテヤルト云フ途ガ開キサヘ
スレバ、日本銀行ノ貸付ト云フコトニセザ

ル方法ハ私ハ付クト思フ、今日日本銀行ノ時ミノ外ノ貸出シト云フモノハアルニシテモ、其貸出シノ中ニハアノ五億ナンボト云フモノガアルカラ多クナッテ居ル、是ガ減ッテ來レバ日本銀行ハ非常ナ餘裕ヲ持ッテ居ルト云フコトハ明カデアル、是ハ即チ經濟界ニ一種ノ信念ト云フカ安心ト云フカト云フコトニハナル、デ、此昭和十二年前ニ處分シテシマフト云フコトニナレバ面倒デアリマスガ、其前ニ處分ラセズニ其間ノ融通力ヲ付ケルト云フコトニサヘスレバ、是ハ相當ノ整理ノ付ク筈デヤナイカト思フ、假ニソレハ付カスト致シマシテモ、昭和十二年ニ來レバソレダケノ日本銀行ノ貸シテ居ル所ノモノハ改正サレルノデアリマスカラ、其コトハ此兌換ノ保證準備ヲ擴張ト云フコトニ對シテハ多少考慮ノ中ニ入レベキモノデヤラウト思フ、ソレハ御説ノヤウニ悉ク是ガ通貨ガ其額ダケキチツト同ジヤウニ増減スルトハ見ラレヌカモ知レマセヌ、ドウモソレ等ヲ考慮シテ見ルト、此十億圓ト云フコトハ如何ニモ多過ギルヤウニ思フ、ソレナラバト云ッテ、在來ノ通り据置イテ宜シイカト云ヘバ、久シイ前ニ於テ一億二千万圓出シタ、大抵制限外發行ハ附キモノニナッテ居ル、斯ナコトノアルベキモノ

デヤアリマセヌカラ、是ハ或ハ七億トカ八億トカ云フコトニ擴張スルコトハ當然ノ順序ダラウト思ヒマスケレドモ、斯ウ云フ經濟界ノ行詰ッタ時ニ餘リニ行キ過ギタコトヲ致シマス、所謂過ギタルハ猶ホ及バザルガ如シト云フコトニナリハシナイカト思ヒマス、此頃救済々々ト云フコトガ頻リニ起リマスガ、徒ラニ救済々々ト云フコトヲヤッテ行キマシタラ、詰リ國家ハ其救済ノ爲ニ亡ビル外ハナイト思フ、何處マデモ義務ハ義務トシテ盡サシムルト云フ立前ノ下ニ進メテ行カナケレバナライ、今日通貨ヲ殖ヤスト云フ必要ノアルコトモ、是モ私ハ大體ニ於テ異議ハアリマセヌガ、是ガ行キ過ギテ却ッテ投機思惑ノ方ガ非常ニ發達シテ、實際ノ經濟界ノ實質其モノノ改善ニハ一向ナラス、是デヤ此目的ヲ私ハ達セラレヌヤウニ思フ、ドウシテモ今日デハ此購買力ト云フモノガ全ク缺乏トマデ言フテ宜イ位ニナッテ居リマスカラ、此購買力ヲ生ズルヤウニスルニハ各自ノ收入ヲ、各方面ニ收入ヲ増サセルト云フコトガ考ヘラレル、其力ガ生ズル所カラ金融モ茲ニ必要ガ起ッテ來ルト云フ順序ニナッテ來ナケレバ本物デヤナイト私ニハ思ハレマス、是等ノ點ニ付

デモ最早今日衆議院ヲ通過シテ來テ居ル、茲ニ修正スルト云フガ如キコトモナカ／＼容易ナコトデヤアリマスマイガ、兎ニ角是ハ一方ニ參與會ト云フモノガ出來テ居ルノデアリマスガ、此參與會ト云フモノモ、是ハ人ニ存スルコトデアッテ、一概ニ論ズル譯ニハ參リマセヌガ、是モ一利一害ノモノダラウト思フ、私ノ考ハ此中ノ害ヲ御防ギニナルト云フガ如キコトニ付テハドウ云フ御考ガアルカト云フコトヲ質シテ見タイ、能ク私ハ實際ノコトカラ申上ゲマス、例ヘバ茲ニ甲ノ會社ガ自己ノ重役、取締役ト云フモノガ他ノ銀行業ヤ色々ノ事業ニ關係シテ居ル人ガ、其甲ノ會社ノ重役デアル、其甲ノ會社ノ重役會ニ或ハ株式ヲ是レ々々ノモノヲ買フ、斯ウ云フコトヲ決議シタト假定シマス、其重役ハ自己ノ方ノ業務ニ對シテ直ニ何處其處ガ是ダケノモノヲ買フカラト云フコトデ、直グ其處ニ思惑ヲヤル、是ト同ジヤウニ此參與員ト申シマスカ、此人ガ金融業者デアッテ、サウシテ日本銀行ノ……大ナル金融業者ヘ入ッテ行ッテ、而シテ日本銀行ノ方針ガ斯ウダト云フコトニナリマスト、自己ノ業務デ直グ是ガソレダケ行ケル風ナコトニナルト思フ、殊ニ金利ノ上ゲ下ゲナドト云フヤウナ問題ニ於テ、衆議院デ

ハ金利ノ上ゲ下ゲト云フコトハ、非常ニ重大ナルコトデアルカラ、所謂重要ナコトデアルカラ、無論之ニ諮問スルト、斯ウ云フ御説明ニナッテ居ル、諮問スルノハ斯ウ云フ機關ガアレバ當然ダト思フ、併ナガラ其前ニ參與ニ居リマス爲ニ知ッテ、サウシテ自分ノ方ノ業務ノ方ニ大變ナ利益ガ得ラレルト云フコトハ、是ハドウモ防ギヤウガナイカモ知レマセヌガ、餘程困ッタモノデアル、詰リ斯ウ云フ機關ヲ御拵ヘナサルナラバ、金融業ニ經驗ノアル者ニシテ、今現在銀行ノ業務ヲ執ッテ居ラヌト云フ者ナラバ宜シウゴザイマセウ、今現在銀行業務ヲ執ッテ居リ、而シテ日本銀行ノヤウナ大キナ金融ノ機關ヘ入ッテ行ッテ、金利ヲ下ゲルトカ、其他日本銀行ハ斯ウ云フ方針ヲ執ルトカ云フガ如キコトガ、早ク分リマスと云フガ如キコトガ、果シテ他ノ其處ヘ入ッテ居ラヌ金融業者ガ満足スルコトデアリマセウカ、ソレ等ノ點ニ對シテ無論御考慮ニナッテ居ルト思ヒマスガ、如何ニシテ防ガレルト思召ガアルノデゴザイマスカ

○政府委員(大久保偵次君) 只今ノ御尋ネニ付キマシテ、初ノ方ノ此出テ行ク通貨ヲ投機思惑ノ方ニ向ケルコトハ甚ダ宜シクナイカラ、其方ニ付テモモ御調ニナッテ居

ルヤウニ拜承イタシマシタガ、ソレデ通貨ノ正當需要方面ニ向ケナケリヤナラヌト云フコトノ極メテ大切ナコトハ將ニ私共モ御示シノ通りト考ヘテ居リマス、現ニ投機思惑ト云フ方面ハ防ギタイ、ソレニ對シマシテハ色々ナコトヲ注意シナケレバナラヌト云フコトモ御説ノ通りト思フノデゴザイマスガ、ソレニ關聯イタシマシテ此案デハ丁度今御話ニナリマシタ通りニ參與會ト云フ風ナモノヲ拵ヘマシテ、斯ウ云フ風ニ投機思惑ト云フ風ナ方面ニ向ウコトヲ寧ロ防止スル、極メテ正當方面ノ方ニ向ハセルト云フ風ナ一ツノ諮問機關ニスルト云フ立前ニナッテ居リマスノデ、丁度今仰セニナリマシタヤウナ目的ヲ持ッテ居リマス、ソレニ關聯シテ弊害等ヲ考慮シテ居ルカト云フ御話デアリマス、總テ斯ウ云フ風ナ大切ナ機關ガ運用ニ極メテ重要ナコトハ將ニ御話ノ通りデゴザイマシテ、此參與制度ヲ拵ヘマスコトニ付キマシテハ、極メテ其點ニ付テハ大事ニ考ヘタ趣旨デ此法律ハ出來テ居リマスノデゴザイマス、デ例ヘバ人數モ極ク制限イタシマシテ、金融、産業、學識、經驗ノアル方面カラ五名以內ニスル、之ヲ大藏大臣ノ任命ニ致シマシタヤウナ次第デ特ニ此制度ニ重キヲ置イタ譯デゴザイマス、今仰

セニナリマシタ現在金融ニ從事シテ居ル者ガ斯ウ云フ風ナモノニ這入ッテ來ルト云フコトハ情弊ヲ醸スノ惧レハナイカト云フ風ナ御尋デゴザイマス、是ハ運用ヲ誤リマスレバ誠ニ恐ルベキ結果ニナルドラウト私共モ思ッテ居リマス、併シ此參與會ト云フモノノ出來タ趣旨ハ現在ノ日本銀行ノ金融統制上ニ於ケル機能發揚ノ方法ニ付テモ亦一面世評モアリマスノデスカラ、中央銀行ハ一國金融界ノ上ニ總テ統制力ヲ持ッテ居ナケリヤナラヌ譯デゴザイマスケレドモ、現在ニ於キマシテハ其點ハ思フヤウニ行ハレテ居リマセヌノデゴザイマス、現在ニ活動シテ居リマス所ノ金融機關ト密接ナル關係ヲ持チマシテ其統制ヲ托シテ行クンデゴザイマセヌケレバ、現在ノヤウナ具合ニ、テンデニ斯ウヤッテ行クト云フ憾ミガアリマスニ於テハ折角ノ中央銀行ノ職能モ十分ニ發揚サレタモノトハ思ヘナイドラウト思フ、デ唯弊害ノ點ヲ考ヘマシテ、斯ウ云フ風ナ趣旨ニ於テ金融統制ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フコトニナリマシテハ洵ニ遺憾デゴザイマスカラ、現在金融ニ從事シテ居ル者ト雖モ學識、經驗若クハ人格總テノ點ニ於テ心配ニナラヌヤウナ人ヲ選定イタシマシテ、之ヲ以テ金融統制上及ビ金融界、

産業界トノ聯絡上緊密ナル聯絡ヲ保チマシテ、以テ日本銀行ノ中央機關タル機能ヲ發揚スルト云フ點ニ重キヲ置イテ居リマス、仰セノヤウニ弊害ト云フヤウナコトハ此選定ノ方法ニ依ッテハナイヤウニ一ツ運用シテ行キタイ斯ウ云フ積リデ居リマス

○片岡直溫君　モノニハ必ず一利アルモノニハ一害ガ伴フモノデアリマス、絶無トハ言ヘマスマイガ、マア要ハ人ニ存スルデアリマセウ、此上ハ論ジテモ仕様ガアリマセヌガ、第一ニ御尋不致シマシタヤウニ、今日ノ金融界ハ金ガ無クシテ是ガ爲ニ融通ガ梗塞シテ居ル、減ッテハ居リマスガ、金ガ無い爲ニ全ク融通ガ出來ヌ、斯ウ云フノデハナクシテ貸スニ貸セナイ、金ガアッテモ貸セナイ、斯ウ云フ部分ガ大部分ヲ占メテ居ルト思ヒマス、此際此通貨ヲ殖ヤシテ、サウシテ此融通ヲ圓滿ニスルト云フコトニ付テハ先刻ノ御説明デハドウモ一向安心ガツキマセヌガ、何等カソコニ御所信ガアルンデアリマセウカ

○政府委員(大久保債次君)　現在ニ於キマシテ金融梗塞ノ實情ハ今仰セノ通りノ次第デゴザイマスガ、併シ一面ニ於キマシテ、金融界ノ實情ハ中央ト地方トノ間ニ十分ニ其金融連絡ガ取レテ居ナイト云フ風ナコト

モソレガ一因ヂヤナイカト思ヒマス、ソレデ今日ノ今迄ノ金融ノ狀況ハ中央ニ資金ガ集中イタシマシテ其弊ニ苦ンデ居タト云フ點モゴザイマス、又更ニ中央ニ於キマシテモ、最近二三年間ハ殊ニ經濟界ノ不況其他色々不安モ伴ヒマシテ金融ハ十分ニ行カヌト云フ風ナコトニナッテ居ルコトハ御話ノ通りデゴザイマスガ、併シ日本銀行ト致シマシテ是等ノ金融ヲツケルニ致シマシテモ今日迄ノヤウニ制限外發行デ大多數ノ額ヲ受持タナケレバナラヌ、假ニ平均需要量ガ十二億ト致シマシテ、其正貨ガ四億三千万足ラズ、結局八億ノ中三億二千万、其中デモ政府貸上金ガ二千二百萬圓トナッテ居リマスガ、一億ノ金ガ足ラヌカラ七億ガ大抵制限外發行デ、絶エズ、六億、七億ト云フ風ナ具合ニ、斯ウナッテ居リマシテハドウモ金融疏通ノ上ニ十分デナカラウト思ヒマス、此點ニ於テハ先程カラ仰セノヤウナ具合ニ相當額ノ擴張ハ止ムヲ得ナイドラウト云フ風ナ御趣旨ニモ承ッテ居リマス、此五分以上ノ税金ヲ負擔シテ出タル金デ以テ金融ノ圓滑ヲ圖ルト云フコトハ事柄自體ニ非常ニ無理デハナイカト思ヒマス、尙ホ需要ノ方面カラ今御話デゴザイマシテ、需要ノ方ハ必シモソレハ此制度ヲ出シマシタカ

ラ直チニ景氣不景氣ノ方面ニ流レテ行ク、ソレニ對スル施設ヲ同時ニヤッテ居ルカト云フ仰セザアリマス。是ハナカナカ急ニハ斯ウ考ヘラレヌ問題デゴザイマス、漸次其コトモ考ヘナケレバナラヌト思ヒマスガ、第一其出テ行クニ致シマシテモ元ミガ今言フ風ナ具合ニ餘程舊イ制度デ殆ド限外發行ト云フコトガ常例ニナッテ居リマス、後カラ非常ニ高イ負擔ヲ背負テ行ッテ居ルト云フ風ナヤリ方デアリマスガ、ドウモ是ハ金融ノ常道デハナイデアラウト云フ風ナ趣旨カラ中央銀行制度ト云フモノノ改革ガ先ヅ金融政策トシテ第一ニ考ヘナケレバナラヌデヤナイカト云フ風ナコトデ出發イタシテ居ル次第デゴザイマス

○片岡直溫君 銀行局長ニ強ヒテ私ガ質問ヲ致シマシテモ、職務上自己ノ權限外ニ行ク譯ニ參リマスマイト思ヒマスカラ、此上ハ大藏大臣ノ御出席ヲ願ッテ質問ヲスルヨリ外ニ仕方ガアリマセヌガ、大藏大臣ハナカナカ多方面ニ今日ハ忙シカラウト思フ、餘リ無理ヲ言フテモ日モアリマセヌカラ一ツ此處デ試ミニ銀行局長ニ御答ガ出來レバ良シ、出來ナカタラ大藏大臣ヘ御相談下サツテ、自ら御答ダケニ御出席下サルカ、御取次下サルカト云フガ如キ便法デモ宜カラ

ウト思ヒマス、其意味ニ於テ御尋ヲモウ一度繰返シマス、今日ノ民間ノ金融其他經濟界ノ困難ト云フモノハ地方ノ金ガ保險ト云フモノニ依リ、或ハ貯蓄銀行或ハ信託其他種々ノ機關ニ依ッテ都會若クハ中央ニ吸收サレテ、サウシテ是ガ地方ニ還元シナイ、戻ッテ來ナイ、是ガ今日ノ困難ノ土臺デアラウト考ヘテ居リマス、地方カラ中央ヘ纏メタモノハ、又地方ニ還元シテ行クト云フコトヲ計畫シテヤラナケレバ、産業ノ立直リダトカ何トカ云ッテ見タ所ガ理窟デハ云ヘマセウガ、實際ニハ何シニモナラヌト思ヒマス、ソレデ其方法ニ付テハ何等カ大藏省ニ於テ……大藏大臣ニ於テ御考慮中カ若クハ御考慮ニナッタコトデモアルノデスカ、此頃平價切下ト云フガ如キ問題ガ可ナリ強ク唱道サレテ來テ居ルヤウデアリマ스가、是ハドウ云フ趣意デアルカ私ハ了解シ兼ねマススケレドモ、惟フニ今日一ムヲ以テ金五圓トスト斯ウ云フ、今兌換ノ中止ニハナッテ居リマスガ、サウ云フ立前ニナッテ居リマスルカラ、ソレヲ例ヘバ五分ヲ以テ五圓トス斯ウ云フ風……又五分ノ一ニ切下ゲルト云フコトデアリマスガ、詰リ金ノ目方ヲ少クシテサウシテ貨幣ノ金目ヲ殖ヤサウト、斯ウ云フコトデアリマスガ、其結果

ハドウ云フコトカト云フト、例ヘバ今日四億三千万圓ノ正貨準備ガアル、其正貨準備ヲ今云フヤウナ方法ニ依ッテ切下ラスレバ茲ニ倍ニナルカ三倍ニナルカ差ガ出來テ來ル、其差ノ出來タ所ノモノヲ政府ヘ取上ゲテ、サウシテ之ヲ農家ノ負債五十億ト云ヒマスガ、六十億ト云ヒマスガ、其方ヘヤッテヤラウト斯ウ云フヤウナ意味カラ生レテ來テ居リハセヌカト思ハレルノデスガ、ソレハ向ウノ正體ヲ確メズシテ質問スルノハ少シ無理カモ知レマセヌガ、私ノ想像ノ通りデアルカナイカハ暫ク措キマシテ、平價切下ト云フガ如キコトガ、大藏省内ニハ今御尋ネシトラソシナコトハ考ヘテ居ラヌト正式ニハ御答ヘニナルニハ決マッテ居リマ스가、併ナガラ正式デナシニ打明ケタ所デ、是ハ何トカセナケレバナラヌト云フ御考デアルカナイカヲ確メテ置カナイト茲ニ此改正ヲヤッタ、又ソシナコトヲ仕出來シタト云フコトニナッタラ恐ラク經濟界ハ打壤サレルト思フノデス、サウ云フ點ニ對シテノ御考ハドウ御考ヘニナッテ居ルカ、ソレカラ今日農家ノ困難、中小工業家ノ困難、是ハドウモ何トカシテヤラナケレバ斯ウ云フ風ナ聲ヲ立テマシタカラ益、其聲ヲ高メテ來テ、サウシテ高メルバカリデナクシテ或ル動

作ガ伴ウテ來ヤセヌカト思フノデス、サリトテ之ヲ農家ノ借金ヲ棒引ニシテヤルトカ半分減ラシテヤルトカ云フコトヲシタナラバ、ソレコソ今後融通ナドシタナラバモウ拂フ考ヘハナイト云フコトニ決マッテ仕舞フ譯デ、ソシナコトヲシタラ大變ダラウト思フ、大變デアルカラト云ッテ何シニモシナカタラ納マルカト云フト、是モ納マルマイト思フ、然ラバ茲デ政府ノ是迄ノ農家ニ對シ、或ハ中小工業ニ對シテ融通シテ居ル金ニ對スル利子ヲ出來ルダケ茲ニ引下ゲル、ソレカラ此元利ノ償還ヲ茲一年半ト云フカ、二年ト云フカ、三年ト云フカ茲ニ中止ヲスル、サウシテ斯ウ云フ改正ト其他ノ政策ガ行ハレテ來テ産業ノ上ニ於テ多少ノ好成績ヲ擧ゲテ來ル、所謂購買力モ出來ル、産業モ興ッテ來ル、斯ウ云フ時ニ至ッたら借リタ金ハ拂ハナケレバナラヌ、ドコ迄モヤッテ仕舞フト云フ救済主義ヲ行フガ如キコトハ、兎ニ角今日マデ救済援助ト云フコトヲ盛シニヤッテ來タノガ、今日斯ウ云フ風ニナッテ來タ遠因デヤナイカト思フ、ソレハ今言フ私ノ御尋ネシタヤウナコトモ餘リ良イコトデアアリマセヌガ、サリトテ此處マデ來テ居ルモノヲ此儘置クト云フ譯ニモ行クマイト思フ、何等カ之ニ對シテ今私ノ申上

ガタコトデモ爲サルト云フ御考ガ付クカ付カヌカ、ソレヲ今農家ニ對シテ之ヲヤレバ中小工業ニ對シテモ同ジコトヲ考ヘナケレバナラヌ、今迄ノ借リテ居ルモノヲ中止スル、幾ラカ、三年カ中止スルガ如キコトヲ、政府カラ出テ居ルモノ、或ハ特殊銀行カラ出テ居ルモノハ政府ノ手ニ於テ出來ル限りソレヲ及ボスト云フコトト、ソレカラ今日ノ困難ハ農家ノ方デハ金ガ無クシテ肥料ガ買ヘナイ、實際買ヘナイ、買ヘルモノモ幾分アルカ知レマセヌガ、買ヘナイ、此肥料ノ如キモノハ一反歩ニ對シテ一圓……一圓トスレバ我國ノ耕作反別ニ對シテ約六千萬圓、六千万圓ノ融通ダケデモシテヤレバ、是ハ肥料ガ得ラレルカラ是ハマア唯呉レテ宜イ、今ノ棒引ヤ何カスルコトカラ考ヘレバ……サウシテ此肥料ヲ得テ大ニ産業ヲ發展セシメル、斯ウ云フヤウナコトヲ御考ヘニナラナケレバナラヌ時ニ遭遇シテ居ルヤウニ思フ、農家ニ對シテソレヲヤレバ中小工業ニ對シテモソレヲヤラナケレバナラヌ、中小工業ニ對シテ例ヘバ質屋銀行ノ如キ輕便ナモノヲ拵ヘテ品物ヲ持ッテ來レバ内貸ヲシテヤル、其物ヲ賣ッテ金ヲ拂ハス、斯ウ云フヤウナ何カ茲ニ庶民銀行ノヤウナ、銀行ニスレバ面倒デアリマスガ、何等

カ町村其他ノ組合ガ何カ方法ヲ拵ヘテ融通ノ途ヲ御開キニナラヌケレバ、唯金ハ何ボデモ貸スト云ッテ日本銀行デウシト殖ヤシテ見タ所デ恐ラクは私ハ實際ノ方ニハ運用ハ出來スト思ヒマス、其邊ニ對スル御考ガ茲ニ御説明ガ出來ヤシナイカ、出來ナケレバ一ツ御取次ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(大久保偵次君) 只今大藏大臣ノ方ニ問合ハセマシタ所、他ノ會議ノ方デドウシテモ御差繰ガ出來ナイサウデスカラ、尙ホ一ツ相談ヲ致シテ置キマス、尙ホ只今ノ御尋ノ件々ハ、事廣汎ニ互ッテ居リマスルコトデゴザイマスカラシテ、私此處デ私見ヲ申上ゲマスルヨリモ、或ハ大藏大臣ニ成ルベク差繰、テ貫ヒマスヤウニ交渉イタシマス、若シ差繰ガ出來マセヌケレバ御質問ノ趣旨ヲ體シマシテ、一ツ相談ヲ致シマシタ上ニ何等カノ方法ヲ講ズルコトニ致シタイト思ヒマスカラ、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○片岡直溫君 私ハ是デ暫ク質問ヲ中止イタシマス

○委員長(伯爵林博太郎君) ドナタカ御質問アリマセヌカ

○男爵矢吹省三君 他ニ御質問ガナケレバ私質問ヲ致シタイト思ヒマス

○委員長(伯爵林博太郎君) ドウゾ……

○男爵矢吹省三君 資本逃避ノコトニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、此法律ニ依リマシテ現在投資シツツアル資本ノ相當部分ノ逃避ヲ防グト云フコトニ目標ガアルト思ヒマスガ、併シ經濟界ノコトデ、實ニ利益ニ依ッテ考ヘラレルコトデアリマスルカラ、此逃避防止法ノ目ヲ盜ンデ逃避スルト云フコトハ亦免レナイカト考ヘルノデアリマス、ソレデ私ノ伺ヒタイ點ハ内地ニアリマスル會社ガ外國ニ支店ヲ持ッテ居ッテ、其支店デ既ニ今日マデ外國ニ於ケル日本ノ證券等ヲ買込ンデ、其支店ノ資金ガサウ云フコトノ爲ニ既ニ缺乏シテ居ル、其支店ノ資金ヲ本店カラ補充スル爲ニ、新ニ送金スル必要ガアル、併シ其送金スル金ハ今後商賣本來ノモノニ使ハレルモノデアリマシテ、今他ニ轉ジテ行ク資本ト云フモノハ此防止法ニ依ッテ防止サルベキ性質ノ資本デハナイ、左様ナ場合ニ其支店ニ於テ過去ニ左様ナ外國證券ヲ買入レタ事實アリヤ否ヤト云フコトヲ調べナイ限りハ、左様ナ資金ニ付テ許可ヲ與ヘナケレバナラヌノデアアルト考ヘルノデアリマス、其場合ニ於テドウ云フ風ナ處置ヲ爲サレマスルカ、ソレヲ一ツ承リマス、ソレカラモウ一ツハ色々考ヘラレルノデアリマス

ルガ、新ニ外國ニ於テ日本ノ證券ヲ買入レルト云フ資金ヲ求メル爲ニ、普通ノ方法デハドウモサウ云フ許可ヲ得ルコトハムヅカシイコトデアリマスカラ、其目ヲ盜ム方法トシテ外國カラ日本ニ輸入スル貨物、ソレハ支店本店ノ間デモ行ハレマセウガ、或ハ始終取引アル店トノ間ニ其輸入サレル價格以上ノ「インボイスメント」ヲ作ル、假ニ百万圓ノ貨物ヲ輸入スル場合ニ、「インボイス」ハ百五十萬圓ニシテ輸入スル、サウスレバ其五十萬圓ダケノモノハ外國ニ於ケル其店ガ、日本ノ外國ニ於ケル證券ヲ買フコトニ資金ヲ用キルコトニナリマスカラ、此途ニ依ッテ所謂資本ノ逃避ガ出來ルト云フコトガ想像シ得ルノデアリマス、ソレ等ノコトニ付テドウ云フ御取締ヲ爲サル御積リデアリマスガ、其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(青木一男君) 第一ノ御尋ニ對シテ御答ヘ致シマスガ、本邦法人ノ在外支店勘定ニ於テ所有シテ居ル外貨證券ニ付キマシテハ第三條ニ依リマシテ必要ト認ムル場合ニハ其實却テ命ズルト云フコトガアリ得ルニ過ギナイノデアリマス、而シテサウ云フコトヲ致シマシタ爲ニ在外支店ノ資金ガ足りナクナッテ本店カラソレヲ補充スルノヲ如何ニ扱フカト云フ御質問ノヤウデア

リマスガ、在外支店ノ資金ヲ補充スル爲ニ本店カラ送ルノハ第一條ノ送金ニ該當スルノデアリマスカラ、只今ノ腹案ト致シマシテハ其使用セントスル業務ノ内容ガ本當ニ海外事業經營ノ爲ナリヤ、或ハ資本逃避ノ一ツノ變形トシテ企テルノデアリヤト云フ其事情ヲ能ク確メマシテ許可スベキモノハ許可シヤウト思ヒマス、又實際ニソレガ客觀的ニ其資本ヲ移ス目的デナイナラバ差支ハナイノデアリマスガ、若シ資本ヲ移ス目的ヲ以テ致シマシタ場合ニモ許可ヲ受ケレバ宜シイコトニシヤウト思ヒマスカラ、其際ニハ用途ノ認定ニ依ッテ許可ヲ決シタイト思ッテ居リマス、其際先程例ヲ御話シニナリマシヤウナ商業ノ資金ヲ在外資金ノ方デセシメテ居、タト云フコトガ其會社ニアリマスレバ、矢張り許可ノ場合ニ參考資料タルベキモノト思ッテ居リマス、ソレカラ第二ノ點デ輸入價格ヲ偽ッテ其代金ノ支拂トシテ餘計ノ金ヲ送ルコトニ依ッテ此法律ヲ潜リハシナイカト云フ御質問ノヤウデアリマスガ、先程モ御説明申上ゲマシヤウニ、此法律ハ成ルベク此純粹ナル資本逃避ダケニ限定シタイ、其タメニ貿易其他正當ナル業務ニハ障礙ヲ出來ルダケ與ヘナイヤウニシタイト云フ考カラ致シマシテ、從テ此法

律及ビ之ニ基テ命令ニ規定サレルヤウナコトハ今御尋ノヤウナ其代金ヲ偽ッテ此法律ヲ潜ラウトスレバ、サウ云フ道具ニ使ハレルヤウナ拔道ハ考ヘ得ルト思フノデアリマス、併シ其場合ニモ此實際ノ輸入ノ代金トシテ支拂ッタノハ宜シイノデアリマスガ、資本ヲ外國ニ移ス目的ノ爲ニ輸入代金ノ名ニ隠レテ送金シタコトガ判リマスレバ、本法ノ違反トナルノデアリマシテ、刑罰ヲ受ケルノデアリマス、唯問題ハ此反則ガ容易ニ判ルカ判ラナイカト云フ問題ニナルノデアリマスガ、是ハ其犯罪ノ摘發ガ相當困難トハ思ヒマスガ、政府ハ出來ルダケ正當ナル商賣ニ害ヲ與ヘナイ範圍ニ於テ、サウ云フ違反行爲ヲ取締リタイト思ヒマス、若シ其犯罪ノ行爲ガ今ノヤウナ形デ行ハレタ場合デモ、分リマスレバ、勿論本法ノ違反行爲トシテ取締リタイト考ヘテ居リマス

○男爵矢吹省三君 今私ノ申シマシタ二ツノ場合ハ、何レモ内地ニ於ケル其營業所ノ帳簿ヲ調べタノデハ分ルマイト思フ、外國ニ於ケル支店或ハ取引店ノ帳簿ヲ調べナケレバ、左様ナ事實ヲ發見スルコトガ困難、或ハ不可能デハナイカト思フノデアリマス、ソコデ、第二條ノ帳簿検査ト云フコトハ、内地ニ於ケル營業所ノ帳簿ヲ調べルニ限

ラレルヤウデアリマス、外國ニ於ケル支店ノ帳簿ヲ調べルト云フヤウナコトハ、領事館等ノ手ヲ經テ爲サル御積リデアリマスカ、又ソレガ外國人ノ店デアッテ、内地ニ於ケル或ル店トノ取引店ニ過ギナイ場合ハ、是ハ全然外國ニ於ケル外國ノ支店デアリマスカラ、之ニ付テノ帳簿ノ検査ハ出來マイト思フ、サウ云フ外國ニ於ケル帳簿ノ検査ハ如何ニ爲サル御積リデアルカ、ソレヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(青木一男君) 取引店タル外國人ノ在外ノ店ニ付テ検査權ノ行ハレナイコトハ明カデアリマスガ、本邦法人ノ在外支店ノ帳簿等ニ付テ検査ヲ行フト云フコトニ付テハ、其法律上可能ナリヤ否ヤト云フコトニ付テ、今尙ホ研究イタシテ居リマス、是ハ外國トノ關係上、簡單ニ一概ニ御答出來ナイヤウニ思ヒマシテ、只今研究イタシテ居ルノデアリマス

○男爵矢吹省三君 此資本逃避ノコトニ付テハ、此防止法ガ出來マシテモ、又色ミ拔ケ途ヲソレノ考ヘルデアラウカト考ヘマスノデ、此命令ヲ御作りニナル際ニハ、尙ホ十分有ラユル場合ニ於テノコトヲ御考ヘニナッテ、少シデモ此防止法ノ效果ヲ擧ゲルヤウニ、此上トモ御考ヘヲ願ヒタイト思ヒ

マス、之ヲ希望トシテ申上ゲテ置キマス、尙ホモウ一ツ伺ヒタイノハ第六條デアリマスガ、是ハ「本店又ハ主タル營業所ヲ有スル法人ノ代表者」云々ト云フコトニナッテ居ルノデアリマシテ、日本ニ於ケル外國人ノ支店ニ是ガ適用サレルカドウカ疑ヲ持ツノデアリマスガ、其點ハ如何デゴザイマスカ

○政府委員(青木一男君) 假令外國人ノ設立シタ會社デアリマシテモ、其本店又ハ主タル事務所ガ本法施行地内ニアル場合、即チ本店主義カラ申シマシテ本邦法人タル要素ヲ備ヘテ居リマスル場合ニハ、其外國支店ニモ適用スルノデアリマス

○男爵矢吹省三君 私ノ御尋ネ致シマシタノハ外國法人デアッテ日本ニ支店ヲ設ケテアル場合ノコトヲ申スノデアリマス、其日本ニ於ケル支店ト外國ニ於ケル其會社ノ本店トノ間ニ左様ナ資本逃避ノ事實ガアッタト致シマシテ、其罰則ガ其支店、即チ東京或ハ其他内地ニ於ケル支店ノ代表者等ニ對シテ此罰則ガ適用サレルカドウカ、ソレガ一寸此法文カラ見ルト除外サレルヤウニ見エマス

○政府委員(青木一男君) 若シソレガ外國法人ノ本邦ニ於ケル支店デアリマスルナラバ、基本店……海外ノ本店又ハ他ノ支店ト

ノ取引ニ付テ申シマスレバ、其支店ノ本邦ニ於ケル行爲ニ付テダケ取締ルノデアリマス

○男爵矢吹省三君

本邦ニ於ケル其支店ノ代表者ノ行爲ヲ、此第六條ノ規定ニ依ッテ取締ルコトニナリ得ルノデアリマスガ、此字句ノ上カラ言ッテ左様ニナラナイデハナイカト思ヒマスガ……

○政府委員(青木一男君)

御尋ネノ趣旨ガ外國法人ノ本邦支店ノ違反行爲ニ付テ如何ニ致スカト云フ仰セデアリマスレバ、ソレハマア五條ハ當然適用ハアルノデアリマス、併シ是ハ本法施行地内ノ行爲ト思ヒマスルノデ、若シ御尋ネガ本店ノ關係ノ取引等デアリマスレバ、其在本邦法人ノ行爲ト認ムベキモノニ付テダケ適用アル譯デアリマス、其在外ノ支店或ハ本店ノ行爲デアリマスレバ、ソレハ第六條ノ結果適用ガナイコトニナルノデアリマス

○男爵矢吹省三君

サウスルト、外國法人ノ場合ハ内地ニ於ケル支店ノ代表者等ガ處罰サレルニ止ッテ、勿論其本國ニ於ケル本店等ノ人々ニハ、此法律ノ罰則ノ適用ハナイト云フコトニ承知スル譯デスナ

○政府委員(青木一男君)

左様デゴザイマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 午後一時半ニ開會イタシマス、休憩ヲ致シマス

午後零時一分休憩

午後一時四十八分開議

○委員長(伯爵林博太郎君)

午前ニ引續キマシテ特別委員會ヲ開會ヲ致シマス、御質問ガアリマスナラドウゾ引續イテ願ヒマス……大藏大臣ハ二時半ニハ必ズ御見エニナルサウデゴザイマスカラ、若モ大藏大臣ノミノ御質問デアリマスナラバ暫ク休憩シタイト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵林博太郎君)

御異議ガアリマセヌケレバ暫ク休憩シテ二時半カラ開會イタシマス、是デ休憩イタシマス

午後一時五十一分休憩

午後三時二十三分開會

○委員長(伯爵林博太郎君)

是ヨリ特別委員會ヲ開會イタシマス

○片岡直温君

先刻質問ヲ致シマシタガ、大藏大臣ガ御出デニナラナカッタノデアリマスカラ、先刻ノ質問ノ要旨ヲ成ベク簡單ニシテ御尋ネヲ致シタイト思ヒマス、此保證準備擴張ノコトハ是ハモウ今日當然ノコト、存ジマスガ、唯其程度即チ十億圓ト云フコトニ相成ッテ居リマスガ、實際ニ於テ之

ヲ十億圓ト迄擴張シナケレバナラヌト云フ必要ハナイヤウニ考ヘラレマス、何故ナレバ今、日本銀行ノ貸出シノ中ニ特別融通ノモノガ約五億五六千万圓停滯シテ居ルノデアラウカト思ヒマス、是ハ昭和十二年迄ニハ決済ガ付ク管デアリマスガ、愈々損失ヲ生ズレバ、五億圓ヲ限ッテ國家ガ補償スルト云フコトニナッテ居リマスカラ、茲ニ整理ガ付ケバ日本銀行ハ新タニ又貸出ス餘裕ガ生ズル筈デアリマス、ソレヲ今日ニ於テ其途ヲ開カウトスレバ、彼ノ特殊融通ノ中ニ、擔保ノ種類ニ依テ、不動産ノ如キハ不動産銀行ニ肩替リヲサセルト云フ手法ノ付カヌコトモナササウニ者ヘラレル、即チ震災手形處理法ニ準ジタヤリ方ヲスレバ、別ニ國庫ガ將來損ヲスルト云フコトニモナラズ、又肩替リヲサセラレタモノニ損失ヲ生ズルト云フコトニモナラナイノデアリマスカラ、急イデ其途ヲ作ラウトスレバ、相當ノ手續ヲ履メバ出來ルコトデハナイカ、假リニ是ハ今日ハ出來ヌトシテモ、其儘ニスレバ、据置キシテ置ケバ、十二年ニハソレダケノ餘裕ガ出來テ來ル筈デアリマス、今日之ヲ片付ケルトスレバ、茲ニ五億六七千万圓ノ特別融通ニ對スルモノダケノ又融通ノ途ガ付クノデアリマスカラ、茲ニ十億圓ト

云フモノヲ發行スルコトガ出來ルトスレバ、其十億圓ニ加フルニ其五億餘圓ヲ以テスレバ、既ニ十五億餘ノ融通ガ出來ル譯デアリマス、加フルニ正貨準備ガ今四億二三千萬圓アリマセウガ、是ハ將來維持ガ出來ルカドウカハ別問題トシテ、漸次多少減ルトシテモ、現在ニ於テハ四億三千万圓ダケハ發行スルコトガ出來ル譯デアリマスカラ、彼此相綜合スルト彼是二十億圓ト云フモノ、融通ガ出來ルヤウナ風ニシヤウトスレバ出來ル、斯ウ云フ譯デアアルカラ此際寧ロ今ノ固定シテ居ルモノヲ片付ケテ、ソレニ依テ融通ノ途ヲ開キ、其足ラザル所ノモノヲ保證準備ヲ擴ゲテ行ッテ、其尙足ラザル臨時ノ場合ニ於テ、制限外ヲ發行スルト云フコトニ爲サル、方ガ宜ササウニ考ヘルニ拘ラズ、其途ヲ御執リニナラナカッタト云フコトハ如何ナル理由デアアルカト云フコトガ一つ、假リニ是ガ正當ノ必要上カラスノ如クシタト假定シマシテ、今是程ノ融通力ヲ拵ヘルト云フコトニシマシタ所ガ、實際民間ニ於テ融通ヲ受クルベキ必要ノモノニ對シテ融通ガ出來ルカドウカ、即チ今日金ガアッテモ地方銀行ガ金ガナイカラ貸セヌト云フコトデナクシテ、金ガアッテモ信用ガナクテ貸セヌ、擔保ガナクテ貸セ

ヌ、斯ウ云フ風ニナッテ居リマスカラ、一方ニ融通ノ途ヲ開イテ見マシタ所ガ、直ニ信用ガソコニ生ジテ、圓滿ナル貸途ガ開ケテ行クト云フコトニハ此儘デハナリ得ナイと思フ、元來此地方ノ農ト言ヒ、或ハ中小工業ト言ヒ、極メテ困窮ヲ致シテ居ル所ノモノハ、地方ノ金ガ保險トカ、或ハ貯金トカ、種々ノ方法ニ依テ都會若クハ中央ニ吸收セラレ、ソレガ地方ニ還元スル途ガナイ、還元シナイモノダカラ地方ガ枯渴シテ居ル、斯ウ云フコトニナッテ居リマスカラ之ヲ地方ノ枯渴シテ居ル所ノモノニ需ハセルト云フニハ何等カノ機關ヲ作ルカ、今ノ機關ヲ何等カノ方法ニ依リ利用スル途ヲ付ケナケレバ圓滿ナル金融ハ出來得ナイと思ハレルノデアリマス、斯ノ如ク日本銀行ノ制度ノ改正、制度ト云フヨリハ兌換券ノ改正ヲ一ツヤッテ、サウシテ融通力ヲ十分ニ拵ヘルト云フコトハ決シテ惡イトハ申シマセヌガ之ヲヤル位ナラバ、同時ニ金ヲ一方ニ疏通セシムル、融通セシムルト云フ方法ト相俟ッテ初メテ擴張シタ所ノ目的ガ達セラレル、唯擴張ハスルガ、其疏通ハ十分ニシナイ、融通ハ十分ニ圓滿ニ行カナイト斯ウ云フコトデアルト、其結果却ッテ産業ノ發展トカ云フ所ヘ行カズシテ、投機思惑ト云フヤウ

ナ方ヘソイツガ行キハシナイカ、ソレデ是程ノ擴張ヲ爲サルト云フコトナラバ、一方ニ擴張シタ所ノモノヲ能ク融通セシムルト云フ手法ヲ御考ヘニナッテ、ソレト併行スルヤウニ何故ナサラナイノカ、ソレハ今ハセヌガ、必ズ其方法ハ斯様々ノ方法ヲ考ヘテ居ル、斯ウ云フ御所信ヲ御持チデアルカドウカ、之ヲ先ヅ御尋ネシマシテ、ソレカラ又更ニ伺ヒマス

○國務大臣(高橋是清君) 最初ハ此十億ニ保證準備ヲ擴張シタノハ、擴張シナクトモ、例ヘバ特融ノ金ガ今日五億、ソレヲ十二年マデ待タズニ今日ソレヲ整理シタナラバ、ソコニ日本銀行ニ於テ更ニソレダケノ發行ノ餘力ガ出ル、其上ニ又正貨モアルヂヤナイカ、ソレ等ヲ合シテ見ルト此度十億ニ保證準備ヲ擴張シタノハ結局二十億ト云フ金ニナル、斯ウ云フ御考ヘデアル、此特融ト云フモノヲ初メハ回收シマシタガ、今日ハナカノ其回收ガ出來ナイ、ダカラシテ一旦特融ノ爲ニ日本銀行カラ出タ兌換券ハ其時特融ヲ受ケタ者ト、其者ニ貸シタ貸借關係デ、支拂ヒニ其金ハ用ヲ爲シテシマフ、此對象物トナッテ其特融ニ出タ金ガ此處ニ備ハッテ居ルト云フモノデナイ、色々ノ方ニ其特融デ出タ兌換券ハ流レテ、結局日本銀

行ニモ戻ッテ來マセウ、或ハ預金部、郵便貯金等、其他ノ事業ノ資本トカ云フヤウナコトニハモウ働イテ來テ居ル、今此特融ノ回收ガ出來ナイノヲ無理ニ之ヲ回收スルト云フコトニシマシテモ、ソレガ爲ニ五億ナラ五億ト云フ滯テ居ル……帳面ノ上デ固定シテ居ル貸出シガ直ニ此兌換券ト云フモノニ代ルト云フ見込ハナイ、損失ガ出ル、損失ハ政府ガ補償ヲ五億マデスル、此政府ノ五億ノ補償ヲスルノニハ公債證書ヲ出シテヤラナケレバナラヌト云フヤウナ狀態ニナッテ居ル、ソレカラ又正貨ニシマシテモ、今日四億三千万圓ノ正貨ガアリマス、是モ今日果シテ此正貨ト云フモノヲ減ラサズニ我が國情トシテ之ヲ維持ガ出來ルヤ否ヤト云フノハ……今日ハ私ハ内外ノ我國ノ情勢ト云フモノハ日露戰爭當時以上ノ國難ニ當ッテ居ルト思フノデアリマス、上海ノ事柄モ今日安心ヲシタト云フマデニ進ンデ居ルヤ否ヤ、又近キ將來ニ於テ最早アスコハ出兵ナドノ心配ハイラスト云フ程ニ落著クヤ否ヤ、殊ニ滿洲ニ於テ其通りデアリマス、サウ云フ場合ニ於キマシテ、我國ノ貿易ガデヌ、假ニ輸出入ノ貿易ハ均衡ヲ得ルトシマシテモ、外債ヲ持ッテ居ル我國ハ此外債ガ平常ノ時ナラバ期限ガ來テ借換モ出來マ

セウ、今日ノ有様デハ獨リ我國ノ形勢カラバカリデナク、借換ガ出來ヤウト思ハレルヤウナ歐米ノ國々ノ資本國ノ狀態ヲ見マシテモ、容易ク此借換ガ出來ルトハ見込ガ立たヌ、シテ見レバ期限ノ來タモノハ償還ヲセネバナラヌ、殊ニ毎年此利息ハ正貨ヲ以テ拂ハナケレバナラヌ、幸ニ貿易關係ニ於テ輸出超過ニナッテ、ソレダケノ政府ノ支拂ガ貿易關係其他ノ關係ニ於テ今保有シテ居ル所ノ四億ノ正貨ニ手ヲ付ケズシテ是ガ出來ルト云フ風ニナレハ非常ニ結構デアリマスガ、但シドウ云フコトニナルドラウカ分ラヌ、是ハモウ我國ノ正貨ヲ是ヨリ減サヌノダト言ッテモ情勢ニ依ッテハ之ニ手ヲ付ケニヤナラヌ必要ガ生ズルカモ知レナイ、又一方ニ於キマシテハ此民間ノ企業者、總テ營業ガ收縮スル一方デアル、之ヲ作興シテ行カナケレバナラヌ、事業家ハ進ンデ尙ホ其事業ニ必要ナラバ、機械類或ハ其工場ノ組織等ニ付テ事業ヲ整理シ擴張シテ行ク、總テノ農工商ノ働キガ是カラ助長シテ行クト云フ場合ニ於テハ、必ズソレニ相當スルダケノ通貨ノ圓滿ナル流通ガ伴ハナケレバナラヌ、サウ云フ點ヲ考ヘ、而シテ此サウ云フ手段ト云フモノハ民間ノ自力ニ俟タナケレバナラヌコトハ無論デアリマスル

ケレドモ、又之ヲ鞭撻シ、指導シ、獎勵シテ行ク意味ニ於テハ各、其各省ノ主管ノ事務ニ付テソレダケノ政策ヲ樹テテ、此金融ヲ圓滿ニ流通セシムルト云フ政策ト相伴ウテ、併行シテ進ンデ行カナケレバナラヌ、唯獨リ此金融バカリデ企業心ノ作興ト云フコトガ望ミ得ナイコトハ申スマデモナイ、此金融制度ノコトニ付キマシテハ先ヅサウ云ウ政策ガ起リ……民間デモ起ルモノデア、又政府ノ政策モ諸官省ニ於テ皆ソレゾレサウ云フ政策ヲ樹テルモノ、又樹テナケレバナラヌ今日ノ有様デア、其基礎ヲ作ルト云フニ止マルト言テ宜カラウト思フ、ソレガ爲ニ十億ト云フコトハ從來カラノ兌換券ノ發行ノ増減モ調ベ、而シテ是ハ制限外モ置キマスガ、制限外ト云フモノハ、是ハ金融ヲ抑壓スルト云フ意味デ初メテ此制限外ヲ置ク效力ガアル、今日マデノヤウニ百年中制限外ガ出テ居ルヤウナコトデハ、是ハ資本ノ抑壓ヲセズニ農工商ノ取引上、必要ナ途ニ向ッテハ十分ニ通貨ヲ供給スル、而シテ一方ニ於テ投機思惑ヲ出來ルダケ抑壓シナケレバナラヌ、茲ニ於テ金融業者ガ其心得ニナッテ政府ノ方針ト併行シテ進ンデ來レナケレバナラヌ、ソレ故ニ保證準備ヲ擴張スルト同時ニ、日本銀行ニ參與會ト

云フモノヲ設ケテ中央銀行ト他ノ大銀行及ビ地方銀行トノ氣脈連絡ヲ能ク保テ、其政府ノ趣意ノアル所ニ違ハナイヤウニ、貸ス金ニ付テハ必ズ其用途ヲ調ベ、必要ナモノニハ融通ヲシテヤル、一方ニ於テハ是マデ既ニ行詰ッテ居ル地方銀行ノ不動産ナドニ固定シテ居ルモノニ付テハ、勸業銀行初メソレゾレ不動産債券ヲ發行スル權能ヲ與ヘラレテ居ル銀行ニシテ、初メテ是等ノ肩替ガ出來ルノデアリマスカラ、其途ハ既ニ講ジテ實行ニ著手シタ次第デアリマス、唯金融ノミヲ以テ此經濟界ノ不振ヲ挽回スルト云フコトデハ決シテナイ、他ノ諸官省モ之ニ産業ニ關係ノアルモノハ皆ソレニ向ッテ同ジ方針ヲ以テ民間ノ産業ヲ助長スルト云フコトニ進ム譯ニナルノデアリマス、サウナッテ見マスト、茲ニ十億ノ保證準備ヲ置イテモ、決シテ是ガ爲ニ多キニ過ギテ投機思惑ニ流レルト云フ懸念モナカラウ、又投機思惑ト云フコトハ、是ハ人生止メ難イコトデア、絕對ニ之ヲ無カラシメルト云フコトハ不可能ノコトデア、併シ金融業者ニシテ窓口カラ出ル金ノ遣ヒ途ヲ能ク糺シテ行クナラバ、餘程此投機思惑ノ方ハ抑制出來ルト考ヘマス

○片岡直溫君 御説明ノ大要ハ全然私モ同感ノ點ガ多イノデアリマス、唯私ノ質問ヲ致シテ居ル所ノモノガ少シ徹底ヲシナイカト感ジマスガ、日本銀行ノ特融ノモノハ、是ハ損失ナラ損失ト云フ所マデセリ詰メマシタナラバ、國家ガ補償スベキモノハ補償スルト云フコトデ片附クモノデアリマス、詰リ是ガ片附イテシマヘバ、日本銀行ノ貸シト云フモノガ、其金額ダケ貸シガナクナッテシマウ、即チ新シク貸ス途ガ日本銀行トシテハ出來ル譯デアリマス、即チ日本銀行ノ考課狀ノ上カラ申シマスレバ、貸シノ中ニハ五億何千万圓ト云フ特融ノモノガ這入テ居ル、是ガ今度無クナッテシマヘバ、ソレダケノモノヲ新シク貸シテモ別段貸シガ大キクナルト云フモノデハナイ、之ヲ整理シヤウト思ヘバ、今何モ十二年ノモノヲ縮メテココデ整理スルト云フコトハシナクテモ、先刻申上ゲタヤウナ曩ニ行ハレタ震災手形處理法ノ精神ニ依ルヤウナヤリ方ヲスレバ、政府モ損ヲセズ、肩替モ容易ク出來ル、從ッテ日本銀行ノ貸シノ方カラ削ッテシマッテ、新シク貸シロガ開ケルト云フコトハ私ハ生ズルト思フノデアリマス、假リニ之ヲ此儘据置イタ所ガ、以後五年ノ後ニハ、今マデ固定シタ貸シガ今度生キタ方ヘ貸シニナッテ行クト云フ途ガ開ケルト思ヒマス、寧

ロ此際ニ相當ノ方法ヲ講ゼラレル方ガ得策デヤナイカト云フコトヲ附加ヘテ御尋ネシタニ過ギナイノデアッテ、之ヲ目ノ子算ニシテ見ルト、新シク彼レ此二十億ニ近イモノヲ貸スト云フコトガ出來ルデヤナイカト云フコトヲ申上ゲタニ過ギナイ、要點ハ十億ハ多イカラ八億デ宜カラウト云フガ如キ修正案ヲ出ス趣意モ何モアリマセヌ、唯之ヲ爲サツタカラト云ッテ今地方ニ金ガ貸セルカ、貸セナイト私ハ思フ、金ガアリサヘスレバ貸スコトハ幾ラデモ出來ルト云フ狀態デハナイノデアリマス、例ヘバ西陣ノ如キ商工業ノ澤山集マッテ居ル所ハ、擔保ト云ヘバ織ッテ拵ヘタモノヨリ外ナイノデアリマスガ、ソレヲ持ッテ行クカラト云フテ銀行デ金ヲ貸シテ呉レハシナイ、將來茲ニ流通ノ途ヲ開カウトスレバ、西陣ナラ西陣ト云フモノ一ツノ團體ヲ引ツ括メタ「デパートメント」見タイノモノデモ拵ヘテ、一方ハ織屋ハ織屋ガ作ラセル、出來タモノハ其處デ賣ラセル、問屋モ問屋デ其中カラ問屋デ分擔ヲシテ地方ニ卸ス、斯ウ云フ風ニスレバ金融ノ途ガ付キマスガ、個々ニ分レタ西陣ト云フモノニ對シテハ金ノ融通ノ途ハ私ハナイヤウニ思フ、都會ノ西陣或ハ桐生、足利ノ如キモノモソレニ類シテ居ルト思ヒマ

スガ、其他ノ郡村ニ至テハ今ノ信用組合ヲ利用スルト云フ途モアリマセウガ、此信用組合ト云フモノヲ悉ク完全無缺ノモノトモ思ハレナイシ、何等カ茲ニ別ノ機關ヲ作ルカ、方法ヲ新シク設ケナケレバ、茲ニ金ヲ貸スト云フ金ダケノ途ヲ開キマシテモ、ソレデ以テ融通ハ私ハ付カヌト思フテ居リマスガ、ソレハドウシテ付ケルト云フ御考ガアルカ、ソレガ付カズシテ唯徒ラニ保證準備ヲ擴ゲテ行クト云フガ如キコトハ却テソコニ無理ガ生ズルコトデアリマスカラ、此投機思惑ノ方ヘ傾キヲ生ジテ來ル虞レガ確カニアルト思ヒマス

○國務大臣(高橋是清君) 此西陣ナリ桐生ノ織物、斯ウ云フモノニ付キマシテモ、或ハ商工省アタリデモ同業ノ組合ト云フ組織ヲ設ケルヤウナ手段モ執ラレツ、アル、或ハ産業組合、信用組合ハ今日ハ随分役ニ立タナイヤウニ、却テ弊害ノアルヤウナモノモアリマス、サウ云フヤウナモノモ是ハ匡正シテ行ク、兎ニ角組織ハ如何ニシテモ國民全體ノ購買力ガ附カナケレバソレハ出來ナイ話デアル、購買力ガナケレバ金モ要ラヌト云フコトニナル、ツイ四五年前ノ話デ、私ナドモ聞イテ實ニ驚イタノハ、田舎ノ者ガ婚禮ノ爲ニ、態々娘ノ衣裳ヲ作ルノニ、三

越ニ來ルトカ「デパート」ニ來テ、非常ニ高イ帶ナドヲ買テ行クト云フテ、ソレヲ見タ人達ノ話ヲ屢、聞イタコトガアリマス、ソレハ畢竟マダアノ時分ニハ世ノ中ノ景氣ガ好クテ、農家等ニ購買力ガ充實シテ居タカラ、サウ云フモノノガドント、捌ケテ、西陣デ元二百圓シタ帶ガ僅カバカリ何カ畫工ニ頼ンデ良イ圖柄ノモノヲ織リ出スト云フヤウナコトニナルト、ソレガ八百圓ニ賣レルト云フヤウナ世間ノ惡口モアツタノデアリマスガ、ソシテニ贅澤ニナルコトハ望ミマセヌケレドモ、結局地方ニ信用ガナクナッタト云フノモ、基ク所ハ一般ノ人ガ購買力ヲ失、タト云フコトニ歸著スル、其購買力ヲ養フノニハ農商工ノ……主ニ農村デ言ハバ農業者ノ働キガ、相當ニ働キ得タ貨物、米ナリ或ハ繭ナリサウ云フモノガ其生産費ヲ償テ自分達ガ生活シテ尙ソコニ幾分ノ餘裕ガ出來ルト云フ位ニ、其人ノ作タモノガ高クナッテ行カナケレバ、購買力ハ出來ナイ、其購買力ヲ養フト云フノガ根本デアル、其政策ヲ皆立テ、居ルノデ、此頃ノ滯貨製絲ノ處分ニシテモ、或ハ又今後農村ノ救済トカ、從來モヤッテ居ルノデスガ、色々低利資金ヲ貸ストカ、尙ソレニ足ラズシテ、貸借期限ヲ延バストカ、或ハ返還據置年限ヲ延

バストカ、利息ヲ安クスルト云フヤウナコトガ、各地方カラ請求シテ參ッテ居ル、是等モ能ク調べマシテ、農家ノ營ミノ上ニ於テ無理ノナイヤウナ方法ヲ立ッテ行カナケレバナラヌト思フ、サウスレバ自然ト購買力ガ出來テ來ルノデス、其購買力ガ出來テ初メテ物品製造場、或ハ都會地ノ繁榮ニ迄ソレガ及ンデ來ル、地方ニ金ヲ殖シテモ借り手ガナイ、借りル途ガナイ、信用ガナイト一概ニハ言ハレナイ、例ヘバ米ニシテモ、米ガ生産費以上ニ高ク賣レル、サウスレバソレハ其米ガ、米ニ對シテノ金融ハ其時價ナラ時價ト云フモノヲ標準ニシテ金融ガズンズン出來ル、併ナガラ今日ノヤウニ米ヲ作ッテ見タ所ガ、米ヲ賣レバ矢張り損ガ立ツト云フヤウナコトデハ、米價ガ安定シナイノダカラ、茲ニ於テ金融ヲスル者モ安心シテ金ガ貸セナイト云フヤウナコトデ、金融ガ梗塞シテ居ル、貸シタクトモ、今日地方ノ銀行ナドハ預金ハ引出サレルハ、資本ハモウ既ニ土地ニ固定シテシマッテ融通ガ付カヌト云フヤウナノガ多イノデ、先ヅ是等ノ融通ノ力ヲ一方ニ於テハ付ケルト同時ニ、農産物ナドノ値ガ今日ノヤウニ、非常ニ生産費ヲ償ハヌト云フ位ノ安イモノデアッテハ困リマスカラ、ソレヲ相當ノ所迄

高クシテ行カナケレバナラス、サウ云フモノハ金融以外ノ政策ニ屬スルモノデアルカラシテ、今私ガ此處デ米ノコトハドウスル、何ハ斯ウスルト云フヤウナ具體的ノ話ハ出來マセヌケレドモ、要スルニ地方ト言ハズ、都會ト言ハズ生業ニ從事シテ居ルモノガ、購買力ガ増セバ都鄙相互ノ仕合せニナッテ、金融ノ上ニ於テモ通貨ノ殖エテ行ク必要ガ茲ニ起ッテ來ル、其通貨ノ殖エル必要ガ起ッタ時分ニ、通貨ハ出ナイトナッテハイカナイノデアリマスカラ、左様ナ場合ニ於テ、圓滿ニ通貨ハ供給セラレルヤウナ方法ヲ立テル、故ニ之ヲ私ハ先ヅ基礎的ノ工事ト云フテ居ル

○片岡直温君 一般ニ購買力ガ生ズルニ非レバ産業ノ勃興モシナイ、金融ノ必要モ起ラヌト云フコトハ是ハ全ク御説明ノ通りト私モ考ヘテ居リマス、茲ニ於テ政府ハ此購買力ヲ生ゼシムルヤウナ政策ヲ、マア既ニ産業道路トカ、或ハ河川港灣トカ云フヤウナモノヲ豫算ニ若干アルヤウデアリマスガ、其他大藏省トシテ、例ヘバ今日農民ガ約五十億ノ借金ヲシテ居ル、其借金ノ中ニハ農工銀行、勸業銀行ノ如キ方面カラ借りテ居ル者モアリマスガ、中ニハ所謂高利貸ノ非常ナ高イ利息ヲ拂ハナケレバナラヌ

高クシテ行カナケレバナラス、サウ云フモノハ金融以外ノ政策ニ屬スルモノデアルカラシテ、今私ガ此處デ米ノコトハドウスル、何ハ斯ウスルト云フヤウナ具體的ノ話ハ出來マセヌケレドモ、要スルニ地方ト言ハズ、都會ト言ハズ生業ニ從事シテ居ルモノガ、購買力ガ増セバ都鄙相互ノ仕合せニナッテ、金融ノ上ニ於テモ通貨ノ殖エテ行ク必要ガ茲ニ起ッテ來ル、其通貨ノ殖エル必要ガ起ッタ時分ニ、通貨ハ出ナイトナッテハイカナイノデアリマスカラ、左様ナ場合ニ於テ、圓滿ニ通貨ハ供給セラレルヤウナ方法ヲ立テル、故ニ之ヲ私ハ先ヅ基礎的ノ工事ト云フテ居ル

高クシテ行カナケレバナラス、サウ云フモノハ金融以外ノ政策ニ屬スルモノデアルカラシテ、今私ガ此處デ米ノコトハドウスル、何ハ斯ウスルト云フヤウナ具體的ノ話ハ出來マセヌケレドモ、要スルニ地方ト言ハズ、都會ト言ハズ生業ニ從事シテ居ルモノガ、購買力ガ増セバ都鄙相互ノ仕合せニナッテ、金融ノ上ニ於テモ通貨ノ殖エテ行ク必要ガ茲ニ起ッテ來ル、其通貨ノ殖エル必要ガ起ッタ時分ニ、通貨ハ出ナイトナッテハイカナイノデアリマスカラ、左様ナ場合ニ於テ、圓滿ニ通貨ハ供給セラレルヤウナ方法ヲ立テル、故ニ之ヲ私ハ先ヅ基礎的ノ工事ト云フテ居ル

ト云フヤウナ者モアルノデアリマス、此農民ノ今日ノ非常ナル借金ト云フモノニ對シテ、行詰リテ居ルモノヲ何等カ緩和セシムル、言ヒ換ヘレバ圓滿ナル金融ノ途ヲ開ク、斯ウ云フヤウナ何カ御考ガアルノデアリマスガ、附加ヘテ御尋ネシマスガ、近頃平價切下ナドト云フ説ガ其處ニモ此處ニモ立ッテ居、中ニハ隨分有力ナル團體ニ於テ提唱セラレテ居ルト云フヤウナ風ニモ承リマスガ、此趣旨ハ何處ニアルカ私ニハ了解モ出來マセヌガ、兎ニ角斯ウ云フコトノ多數

利息ヲ下ゲ、サウシテ今迄ノ貸シテ居ル者ニ對スル借金ノ幾ラカ延期デモ行フ、唯今日農民ノ借金者ヲシテ棒引キニシタトカ、幾ラカ減シタトカ云フガ如キ喜ビヲ起サシムルコトハ一時的ニハ宜イカモ知レマセヌガ、將來ノ爲ニ餘程考ヘナケレバナラヌト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ將來ノ煩ヒノ種ヲ播カヌヤウニシテ、今日ノ喧シキ問題ニ對スル緩和策ヲ御執リ爲サルト云フ御所信ヲ御持チデアリマセウカドウカ

○國務大臣(高橋是清君) 色々御話ノ通

ノ主張ニ依テ、餘リ喧シクナツタカラ何トカシナケレバナラヌト云フ風ニ行ハレテ來ルヤウニナリマスルト、此改正ノ如キモノト併行シタナラバ由々敷キコトガ起リヤセヌカト思フ、サリトテ斯ウ云フヤウナ聲ヲ揚ゲテ、農民ヲ救フテヤラナケレバナラヌト云フ聲ヲ大ニシマスルト、何等カノ方策ヲ茲ニ行ハナケレバ納リガ附カズ、斯ウ云フヤウナ憂モ生ジヤセヌカ知ラヌト思フ、サウシテ見ルト茲ニ高利貸ノ如キモノノ金利ヲ餘リ高ク取ル所ノモノヲ押ヘ附ケルトカ、法律ヲ以テ是以上利息ヲ取ルコトハナラヌト云フガ如キコトモ出來ヌカモ知レマセヌガ、何トカ其處ヲ押ヘ附ケル、ソレカラ政府其他ノ今迄貸シテ居ルモノニ對スル

リ、平價切下、借金棒引トカ云フ聲ハアリマスガ、政府ハソレニ引摺ラレテ將來ノコトヲ考ヘズニ一時ヲ糊塗スルト云フヤウナ考ハ持ッテ居リマセヌ、而シテ從來ト雖、片岡君ハ大藏大臣トシテ疾クニ御承知デアリマセウガ、預金部カラシテ毎年地方ノ集團ニ對シテ低利資金ト稱ヘルモノガ、或ハ縣債ニ預金部ヲ通シテ、或ハ勸業銀行、農工銀行等ヲ經テ、サウ云フモノモ預金部ノ金ガ融通サレデアリマス、先ヅ差當リ大藏省トシテ考ヘマスノハ、是迄或ハ据置年限ガ無カッタ、アッテモ或ハ一年位トカ云フヤウナコトデアッタ、之ヲ今日ノヤウナ財界不況ノ場合デアリマスカラ、据置年限ノ無イモノハ二年ナリ三年ナリニシ、或ハ二年ノ据

置年限ノアルモノガ困ッテ居ルノデ、之ヲ更ニ五年ニ延バストカ、又新タニ出スモノハ初カラ据置年限ヲ五年ニシテヤル、又期限モ十年ノモノヲ十五年ニ延バストカ、二十年ニ延バストカ、サウ云フ手心ハ今日ノ實情ニ鑑ミテ施サナケレバナラヌ手段ト考ヘテ居リマス、今ノ借金棒引トカ或ハ平價切下トカ云フコトニ付テハ、少クトモ私ハ耳ヲ假サヌ、兎角今日ハ同胞ヲ犠牲ニシテ、同胞ノ利益ヲ犠牲ニシテ、同胞ノ利益ヲ犠牲ニシテ、自己ノ活路ヲ求メルコトバカリニ汲々トシテ居ル者ガアリヤウデアリマスガ、是ハ何トシテモ反省サセナケレバナラヌ、已ムヲ得ズシテ、國家ノ助成トカ保護トカ云フコトヲ懇ヘルノハ宜シウゴザイマスガ、先ヅ懇ヘル前ニ自カラ助ケル精神ヲ以テ自分デスルコトハシナケレバナラヌ、唯他カラ物ヲ貰フ、同胞カラ只物ヲ貰フト云フヤウナ考ヲ起サセナイヤウニシナケレバナラヌ、唯政府ト云フト、何カ自分達ト離レタモノ、ヤウニ今日デハ多ク見テ居ルヤウデアリマスガ、サウデヤナイ、政府ノ方ハ不生産者デ、政府ノ資力ハ皆國民ガ舉ッテ造ラテ呉レルノデアリマス、國民個々ガ造ルノデアリマスガ、其處ヘ氣ガ付カナイヤウニ私ハ思フノデアリマスガ、是ハ一時ノ流行

ト申シマスガ、「スローガン」ト申シマスカ知リマセヌガ、全ク全體ノ國民ガ今日僅ナ人ノ揚ゲテ居ル聲ノヤウナ精神デアッタナラバ、實ニ由々敷大事ダト思ヒマス、斯ウ云フコトハ成ダケ撓メテ行キタイ

○片岡直溫君 時間モアリマセヌカラ、餘リ諄々シイ質問ハ繰返ス譯ニハ參リマセヌガ、今保證準備ヲ十億圓ニスルト云フコトニ付キマシテハ、先刻來申上ゲタ通りノ次第デアリマスガ、是ハ政府トシテハ或ハ參與會ト云フガ如キモノニ諮リ、ソレカラ又一方民間ノ實情ニ能ク顧ミテ徒ラニ通貨ヲ膨脹セシメテ、投機思惑ノ氣分ヲ生ゼシムルヤウナコトハサセナイヤウニスル、斯ウ云フ所信ハ十分ニ御持チデアリマセウカドウカ

○國務大臣(高橋是清君) 勿論デアリマス

○片岡直溫君 此參與會ト云フモノノ組織ヲ見マスルト、金融業者其他經驗ノアル者等ヲ以テ少數任命ヲ爲サルヤウデアリマスガ、是ハモウ少シ大キナ力ノ有ルモノニスレバ格別デアリマスガ、此日本銀行ト云フモノハ他ノ金融業者カラ言ヘバ、非常ナ力強イモノデアリマシテ、其方ヘ向ッテ諮問トハ言ヒナガラ、二三ノモノヲ加ヘタカラト言ッテ、是デ連絡ガ餘程能ク取レルモノトハ私

ハ能ウ思ハヌノデアリマス、寧ロ紡績ハ紡績、其他仕事ノ大部分ヲ占メテ居ル所カラ

代表的ノモノヲ集メテ意見ヲ聴クト云フコトナラバ、ソレハ相當利益モアルデアラウ

ト思ヒマスガ、今ノ如キ組織ニ依リマス、例ヘバ日本銀行ガ金利ヲ上ゲルトカ下ゲルトカ云フガ如キコトハ、日本銀行トシテハ

重要ノ仕事デアリマセウガ、ソレヲ其金融業者ノ者ヲ交ゼテ相談ヲシテ、サウシテ實行スルト云フコトニナレバ、其議ニ與テ

者ハ前以テ用意ガ出來ル、斯ウ云フヤウナ弊ヲ生ズル、人ニモ依リマス、一概ニハ論

ゼラレマセヌガ、今兌換券ノ量ヲ何ボニスル、ドレ位マデニシタラ宜イカト云フガ如

キコトヲ相談ヲスルト云フコトニハ幾分ノ参考ニハナリマセウ、参考ニナルト同時ニ

日本銀行ノ重要ナコトハ悉ク相談シテ行クト云フコトニスレバ、中ニハ私ハ確カニ弊

害ヲ生ジハセヌカト思ヒマス、其利害ヲ比較シテ見タラスウ云フモノヲ拵ヘズトモ、

民間ノ事情ヲ能ク知ルダケノコトハ日本銀行ハ彼ノ建物ノ中ニ籠城ヲシテ居ラズ、モ

ウ少シ民間ノ當業者トモ相接觸シテ實際ノコトヲ知ルコトニ努メサヘスレバ、ソレデ

目的ヲ達スルノデゴザイマセヌカ、斯ウ云フ風ニ思ハレマスガ、是デ非常ニ有益ニナ

ルト云フ御確信ガアリマスカ

○國務大臣(高橋是清君) 是ハマア殆ド初メテノ試ミト云テモ宜イ位デアリマス、今

日ノヤウニ御承知ノ通り日本銀行ト他ノ銀行トノ間ト云フモノハ丸デ俗ニ謂フ、所謂

他人附合デ元ハアレ程デヤナカッタ、ソレカラ今日日本銀行ニ於テ充分盡シテ居ルコト

モ世ノ中ニハ分ラナイ、例ヘバ世ノ中カラハ日本銀行デモット見返リ擔保金ノ範圍ヲ

擴メテ欲シイ、一方日本銀行ニ聞イテ見ルト、大分擴テ居ル、ケレドモ是ハ公ケニ出

來ヌ、何故出來ヌカト云フト、其所等ガ日本銀行ノ人ダケデヤテ居テ、他ノ銀行ト

少シモ緊密ナ關係ガナイカラ、サウ云フコトニナルノデアルカラシテ、大概ノ事ハ參

與會デ話シタコトハ直ニソレガ世ノ中ニ、差支ナイ範圍ノモノハ公ケニナルヤウナコ

トニシタナラバ、サウ云フ今ノヤウナ隠レテ非常ニ努メテ居ルケレドモ、其努メテ居

ルコトガ世ノ中ニ現ハレナイ又現ハスコトヲ好マナイカラ何時マデモ日本銀行ハ窮屈

デアル、彼所ヘ行ッテハ金ヲ借りラレナイト云フヤウナコトニナルノダ、マアサウ云フ

コトカラ先ニ解イテ行ッたら宜カラウ、追テ日本銀行條例ノ改正ニモ著手シナケレバ

ナラヌ時期ガ來ルダラウト思フ、又弊害ガ

アルト云フコトハ恐ラク此金利ナドヲ上ゲルトカ下ゲルトカ云フ時ノ場合デアリマセ

ウガ、是ハ其弊害ノナイヤウニ出來ルダラウシ、又其參與ト云フモノニナッタ人達ハ唯

自分ノ、例ヘバ銀行者ナラバ自分ノ銀行ダケノ利益ヲ圖ルト云フ、サウ云フ考ヲ以テ

働カレルコトハ世ノ中ノ者ガソレモ許サナイダラウト思フノデアリマス、ソレ故ニマ

ア人數ハ少イカラ、是ハ私ガ參與會ト云フモノヲ設ケテ失敗スルカモ知レマセヌガ、

初テノ試ミデアリマスカラ、私ノ期待スル程役ニ立ツヤウニ行カヌカモ知レマセヌ、

ケレドモ先ヅ是等ガ徐々ト中央銀行トシテ統制ノ途ヲ辿ル策一步デアルト、ソコヲ考

ヘテ設ケタ譯デアリマス、是デ永久此儘デ行カウト云フ考ヘハナイノデアリマス

○片岡直溫君 充分ニ要ヲ得タトモ存ジマセヌガ、此今日金融ノ實際梗塞シテ居ル所

ノモノハ金ガナイカラデハナイト云フコトハ畧、承知シテ居リマス、又事實ニ於テモ

其通りデアリマス、之ヲシテ何等カ圓滿ナル金融疏通ノ途ヲ講ズルト云フコトハ近ク

御研究ニナルノデアリマセウカ、モウ是デ暫ク見ル、斯ウ云フ御考デアリマスカ

○國務大臣(高橋是清君) 斯様ナ法案ガ出來シタラ、此法案ニ基イテ是カラ實行ニ

著手スルノデス、唯法律委セニ、法律ニ責任ヲ持タセル積リデアリマセヌ、法律ヲ實行スル者ガ、是カラ責任ヲ持ッテ行ッテ行カナケレバナラヌ、唯法律ヲ出シテ、是デ

宜イト云フ譯デハ決シテアリマセヌ

○片岡直溫君 サウスルト只今ニ於テハ、別段是デハ、現在ニ於テハ甚ダ缺點ガアル

カラ、ソレニハ相當ノ補ヒヲ付ケルコトヲ考ヘナケレバナラヌトシテ、御考ヘニナッテ

ハ居ラヌノデスカ

○國務大臣(高橋是清君) ドウ云フ意味デスカ

○片岡直溫君 現在既ニ金融ハ梗塞シテ居ル、梗塞ノ原因ハ信用ガ缺乏シ、擔保ニモ

行詰ッテ居ル、ソレカラ機關モ缺ケテ居ル、ソレヲ一方ニハ購買力ヲ生ジ物價ヲ高ク

スルト云フヤウナコトモ一ツノ手段デアリマスガ、其外ニ現在ニ於テノ缺點ヲ補フ方

法ガ一ツ行ハレナケレバ目的ヲ達シナイト云フコトヲ私ハ考ヘテ先刻來御話申上ゲタ

ノデアリマス、其事ニ付テハ大藏省デ何等ノ御感ジガナクテ、ソレハモウ少シ見タ

上ノコトニスルト云フノカ、又此既ニ法律ガ通過スル以上ハ、此目的ヲ達スル爲ニハ

十分ノ考究ヲスル、考究ヲシテ目的ヲ達スルヤウ努メル、斯ウ云フ御考ヘデアアルカト

云フコトヲ聽イテ居ル次第アリマス

○國務大臣(高橋是清君) 大藏省トシマシ

テハ、商工省ナリ、農林省ナリ、内務省ナリ、ソレノ仕事ヲシテ行ク上ニ於テハ、金融ニ關係ヲ持タザルモノガ少ナイ、多ク皆金融ニ關係ヲ持ツノデス、此産業政策ニ關係シタ問題ニ付キマシテハ……、其他大藏省トシテハ日本銀行ニ參與會ヲ設ケ、サウシテ是等ハ矢張り個人ノ……、唯單ノ日本銀行本位ノコトヲ相談スルノデナク、國家的ニ此金融上ノコトヲ相談サセルノデアリマスカラ、其人々ノ又意見ニ依テ、大藏省ノ自ラ行政上ニ必要ナ、執ルベキ處分ガ起テ來ルカモ知レマセヌ、又サウ云フコトヲ期待スル、唯大藏省ノミデ世ノ中ヲ見テ、方策ヲ樹ツルト云フヨリハ、實際ニ當テ居ル人ノ知識經驗カラ、自己ノ立場バカリデナク、寧ろ國家的ニ如何ニシタラ宜イカト云フ、廣イ考ヘヲ持テ意見ヲ述ベテ貰ヒタイト、斯ウ考ヘルノデアリマス、紡績業者ニ尋ネレバ紡績業者ダケノ利害關係ニ重キヲ置イテ、立派ナ意見モ出マスケレドモ、又能ク聞イテ見レバ、其人ノ意見ハ立派デハアルガ、國家的ニ考ヘレバ、偏見ニ屬スルト云フヤウナコトガ間々アル、サウ云フコトノナイヤウニシタイ

○片岡直溫君 最早是デ質問ヲ打切りマス

ガ、昨今ノ空氣ト言ヒマスカ、模様ト言ヒマスカ、兎ニ角經濟界ノ前途ニ對シテ何等カノ期待スル所ヲ以テ、臨時議會ノ要求ヲ衆議院方面カラスルガ如ク見エルノデアリマスガ、是ハ政府ト表面未ダ御答ヘナイカモ知レマセヌガ、意見疏通ノ上デナケレバ、唯此場合片一方ノ自分ノ欲スル所ヲ行クト云フ風ニハナラヌト思ヒマス、果シテ是ガ臨時議會ノ要求ガアリ、政府モ之ニ應ズルト云フナラバ、之ニ應ジテ政府ハドウ云フコトヲスル考デ、今私ガ御尋ネシヤウナ金融ヲ圓滿ニ融通スルト云フカ、疏通スルト云フカ、十分ニ融通ノ付クヤウナ方法ヲ講ズルト云フコトハ、其中ニ含マレベキモノデナイカト思フノデアリマスガ、サウ云フコトニ對シテハ未ダ何等御尋ネニ應ジテ御答ヘ下サルト云フ運ビニハナッテ居リマセヌカ

○國務大臣(高橋是清君) 一向サウ云フコトニ付テ今御答ヘスルマデニ何等運ンデ居リマセヌ、併シ今議院ノ方カラ請求セラレズトモ、此財界、產業界ノ有様デアリマスカラシテ、之ヲ唯方策ガ定タニモ拘ラズ、通常議會マデ施行ヲ延バスト云フヤウナ考モ亦政府ハナイノデアリマス、必要ガアレバ請求ガナクトモ法案ガ……政策ガ定マ

リ、而カモ至急ニ其施行ヲ要スルト云フヤウナモノガアレバ、進ンデ是ハ臨時議會ヲ開イテ、協賛ヲ經ベキモノハ經ルト云フノガ、此内閣ノ爲スベキ所ダラウト私ハ信ズル、今新聞ナドニ散見シマスル所ノ或ル一部ノ團體カラ政府ニ何トカ、二箇月以内ニ臨時議會ヲ開ケト云フヤウナコトヲ言テ居ル、是ハサウ期限ヲ付ケラレテ見タ所デ、新タナ此際救済政策ヲ立ツルト云フコトニ付テハ餘程能ク影響……後ノ影響、當面斯ウスレバ宜イト云フ當面ノコトバカリヤルカラ、今日マデ往々後ニ至テ、其時ノ利益ヨリ後ノ害ガ多イト云フヤウナコトガ多イノデアリマス、サウ云フコトノナイヤウニシタイ、餘程其調査研究ト云フモノハ念ヲ入レテシナケレバナラヌ、ソレガ出來上レバ議會ノ協賛ヲ經ル必要ノナイモノハ直ニヤル、協賛ノ必要アルモノハ通常議會ヲ待タズシテ、臨時議會デモ開イテヤルト云フダケノ運ビヲ執ルノガ當然ダラウト思ヒマス

レデハ是デ散會ヲ致シマス

午後四時二十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵林 博太郎君
副委員長 石塚 英藏君
委員 公爵山縣 有道君
侯爵松平 康昌君
子爵渡邊 千冬君
子爵八條 隆正君
子爵舟橋 清賢君
男爵郷 誠之助君
男爵矢吹 省三君
片岡 直溫君
倉知 鐵吉君
西野 元君
馬場 鉄一君
澤山精八郎君
下出 民義君
三木與吉郎君
岩田 三史君
男爵四條 隆英君

國務大臣 大藏大臣 高橋 是清君
政府委員 大藏參與官 上塚 司君
大藏省銀行局長 大久保偵次君
大藏書記官 青木 一男君

○委員長(伯爵林博太郎君) 只今ノ所、別

ニ御質問ガゴザイマセヌケレバ、明後日午後一時半ニ開會イタシタイト思ヒマス、ソ

昭和七年六月十一日印刷

昭和七年六月十二日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局